

平成 24 年度

複合領域コース 履修の手引き
四大学連合



東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

目 次

「複合領域コース」の履修案内

1. 制度の概要	1
2. 出願資格等	1
3. 出願・履修登録手続	2
4. 単位認定及び学業成績	3
5. 履修案内	3
複合領域コース出願手続の流れ	5
複合領域コース（特別聴講学生）願書	6
履修届	7
連絡票	8
出席表	9
複合領域コースの概要	10
四大学連合・複合領域コース コース別授業科目（予定）一覧	14
時間割	
○平成24年度時間割〈医学部医学科〉	25
○平成24年度時間割〈医学部保健衛生学科看護学専攻〉	32
○平成24年度時間割〈医学部保健衛生学科検査技術学専攻〉	34
○平成24年度時間割〈歯学部歯学科、口腔保健学科〉	36
○平成24年度時間割〈医歯学総合研究科医歯理工学専攻（修士課程）〉	39
諸規則・Q & A・交通案内・キャンパス案内等・その他	
○複合領域コース関係の諸規則	41
○四大学連合に関するQ & A	44
○車等の利用、学内の掲示、生活協同組合、附属図書館の利用	46
○交通案内・キャンパス案内等	
・東京医科歯科大学交通・キャンパス案内	47
・一橋大学交通・キャンパス案内	48
・東京工業大学交通・キャンパス案内	49

「複合領域コース」の履修案内

1. 制度の概要

東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学の四大学は、それぞれ独立を保ちつつ、研究教育の内容に応じて連携を図ることで、これまでの高等教育で達成できなかった新しい人材の育成と、学際領域、複合領域の更なる推進を図ることを目的として「四大学連合」を結成しました。

これにより、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学の四大学は、「複合領域コース」（特別履修プログラム）を設定し、それぞれの大学の特色ある授業科目を提供することにより、これまで高等教育機関が育てることのできなかった新しい人材を育成することを目指しています。

この制度は、所属大学在学中に複合領域コースで定められた履修科目の所要単位を修得し、かつ卒業要件を満たした場合にコース修了を認定するものです。

2. 出願資格等

(1) 出願資格

2年次以上の学科に所属する学部学生を対象とする。

(2) 学生の身分

受入れ大学においては「特別聴講学生」とする。

***東京医科歯科大学で受講する他大学生に発行していた（希望学生のみ）身分証明書は平成24年度より発行を中止します。**

(3) 授業料等

特別聴講学生に係る検定料、入学料及び授業料は徴収しない。

(4) 履修科目

特別聴講学生が履修できる授業科目は各コースごとに定められている講義科目とする（コース別授業科目（予定）一覧参照）。

なお、授業内容の詳細については、所属大学教務担当等に確認し、各大学のシラバス、HPを参照してください。

(5) 履修計画

所属大学から協定大学までの通学時間及び所属大学での履修計画等を十分考慮の上、無理のない履修計画を立ててください。

なお、コースごとに所属大学及び協定大学で修得する単位数が異なりますので、留意してください。

(6) 履修期間

履修する授業科目が開講されている授業期間とする。

(7) 受入れ条件

協定大学が受入れる学生の条件（履修できる授業科目の範囲、募集人数、受入れ学生数、各種日程等）については、協定大学が決定する。

履修希望者は、必ずいずれかのコースに所属することとなる。

(8) 評価の方法

授業科目の評価（試験・レポート等）の方法については、協定大学の規則によることとする。

なお、協定大学と所属大学の試験日時が重複した場合には、事前に所属大学の担当係へ連絡して指示を受けてください。

(9) 協定大学の施設の利用

履修上必要な施設・設備（附属図書館、食堂等）を利用することができる。

3. 出願・履修登録手続

(1) 出願期間

「複合領域コース」の特別聴講学生を志願する学生は、所属する大学が定める所定の期間に手続きを行ってください。

(2) 出願方法、提出場所

出願は、所属する大学を通じて行います。

出願者は、所属大学及び協定大学が定める書類を提出してください。

なお、東京医科歯科大学の学生で履修を希望する者は、教務課に相談してください。

出願に必要な書類は「複合領域コース（特別聴講学生）願書」、「複合領域コース特別聴講学生履修届」、「複合領域コース連絡票」です。

*** 出願年度前期に講義を履修しない場合は「願書」と「連絡票」のみ下記の期間内に提出して下さい。**

(3) 願書、履修登録受付期間

願書：平成24年4月9日（月）～4月13日（金）

履修届：平成24年4月9日（月）～4月13日（金）前期

平成24年9月18日（火）～9月28日（金）後期

*** 願書に記載した科目を履修するために履修届の提出が必要です。願書に履修予定科目を記載しただけでは講義を受けられません。**

(4) 提出場所

学務部教務課（1号館西1階）

*** 他大学生の個別の提出は受け付けません。各大学の事務担当係を通して履修手続きをして下さい。**

(5) 履修の可否

協定大学が定める方法により、履修の可否が決定される。

(6) 履修辞退手続き

履修を辞退する場合には、所属大学の担当係に相談の上、所定の手続きを行ってください。

4. 単位認定及び学業成績

(1) 単位認定

協定大学からの成績通知に基づき、単位が授与されている授業科目については、所属大学の定める規定等により、単位を認定する。

なお、**東京医科歯科大学の場合には、卒業要件単位以外の単位として認定する。**ただし、保健衛生学科検査技術学専攻の学生は、東京工業大学または一橋大学の教員による講義を受講した場合、それらの科目の4単位を上限として選択必修科目の一部とすることができる。

(2) 学業成績

協定大学の単位を認定された授業科目の所属大学の「成績原簿」への記載については、協定大学における成績をそのまま転記する。

なお、その際の授業科目の名称は、協定大学の複合領域コースの開講授業科目名をそのまま記載する。

(3) 証明書の発行

複合領域コースの成績については、所属大学が発行する成績証明書及び単位修得証明書に記載される。

5. 履修案内

(1) 協定大学の所在地と問合せ先

【東京工業大学】 目黒区大岡山2-12-1

学務部教務課学部グループ : TEL 03-5734-7641, 3004

東急目黒線又は東急大井町線「大岡山駅」下車徒歩1分

【一橋大学】 国立市中2-1

学務部教務課学務担当 : TEL 042-580-8114

JR中央線「国立駅」南口下車徒歩6分

西キャンパス 本館1階

【東京医科歯科大学】 文京区湯島1-5-45 学務部教務課 (1号館西1階)

JR中央線「御茶ノ水駅」下車徒歩5分、地下鉄丸の内線「御茶ノ水駅」

下車徒歩2分、地下鉄千代田線「新御茶ノ水駅」下車徒歩5分

- ・ 医学教務掛(医学科科目担当) TEL 03-5803-5120
- ・ 保健衛生教務掛(保健衛生学科科目担当) TEL 03-5803-5121
- ・ 歯学系教務掛(歯学部歯学科・口腔保健学科科目担当) TEL 03-5803-5411
- ・ 大学院室(修士課程科目担当) TEL 03-5803-4534

(2) 協定大学の時間割

【東京工業大学】

第1時限	9:00～9:45	第6時限	14:05～14:50
第2時限	9:45～10:30	第7時限	15:05～15:50
第3時限	10:45～11:30	第8時限	15:50～16:35
第4時限	11:30～12:15	第9時限	16:50～17:35
第5時限	13:20～14:05	第10時限	17:35～18:20

(東京工業大学では、平成23年度より授業時間が変更になりましたので注意してください。)

【一橋大学】

第1時限	8:50～10:20
第2時限	10:35～12:05
第3時限	12:55～14:25
第4時限	14:40～16:10
第5時限	16:20～17:50
第6時限	18:00～19:30

【東京医科歯科大学】

	医学部医学科	医学部保健衛生学科	歯学部歯学科、口腔保健学科
第1時限	9:00～10:20	8:50～10:20	9:00～9:50
第2時限	10:30～11:50	10:30～12:00	10:00～10:50
第3時限	12:50～14:10	13:00～14:30	11:00～11:50
第4時限	14:20～15:40	14:40～16:10	13:00～13:50
第5時限	15:50～17:10	16:20～17:50	14:00～14:50
第6時限			15:00～15:50

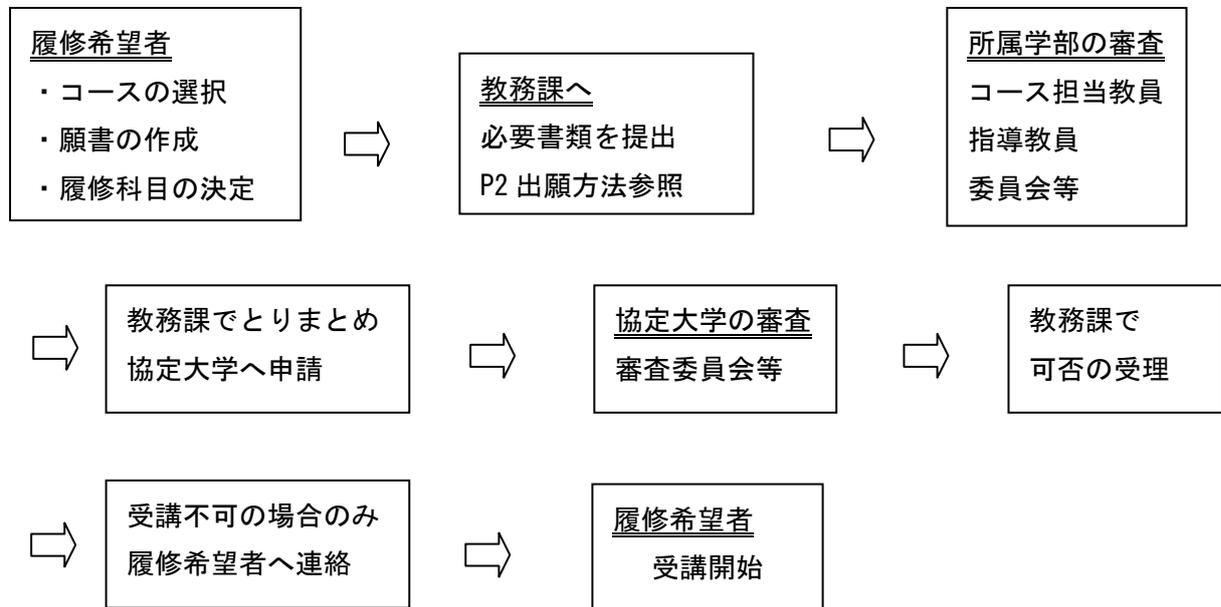
大学院医歯学総合研究科

(医歯理工学専攻) 修士課程

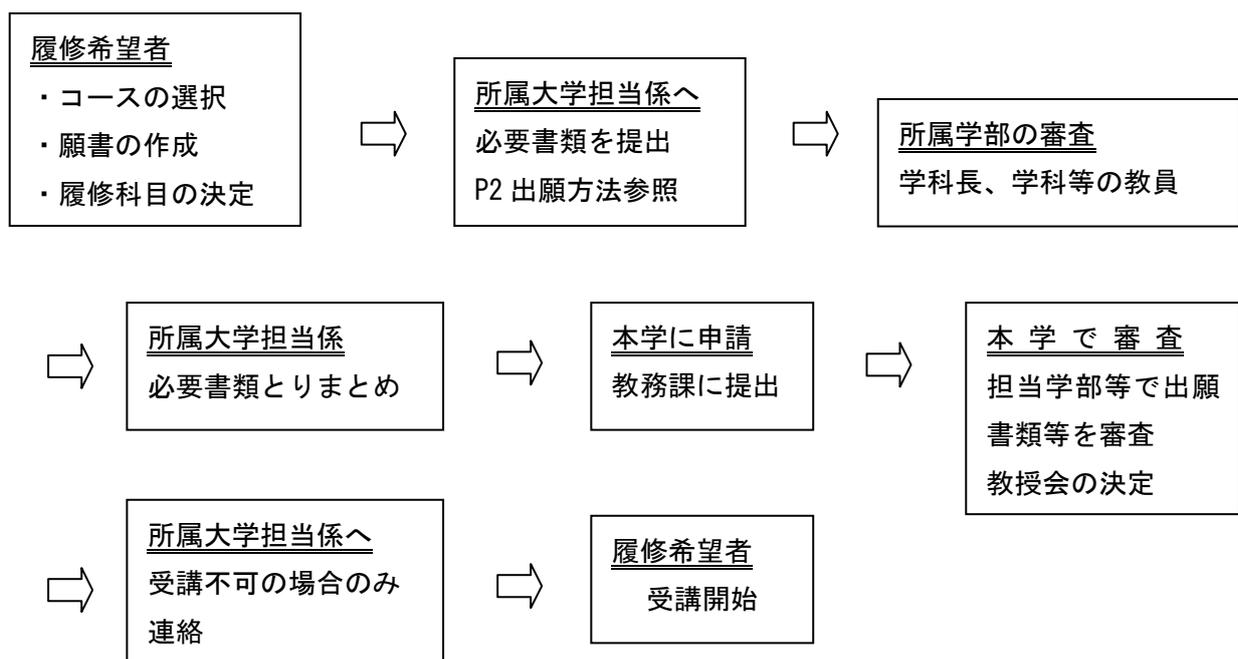
第1時限	8:50～10:20
第2時限	10:30～12:00
第3時限	13:00～14:30
第4時限	14:40～16:10
第5時限	16:20～17:50

複合領域コース出願手続の流れ

本学の学生が協定大学の授業科目を履修する場合



協定大学の学生が本学の授業科目を履修する場合



(共通様式1)

複合領域コース（特別聴講学生）願書

平成 年 月 日

学長 殿

(所属大学)

私は、複合領域コースの特別聴講学生として、下記のとおり提供・開講科目を履修したいので、関係書類を添えて提出いたします。

フリガナ 氏名	-----		男・女	本籍等	都道府県等	写真貼付 3 × 4 cm 絹目は、不可 写真の裏に、 氏名・学籍番号を記入して、願書の右上に、クリップ止めしてください。
生年月日	平成・昭和 年 月 日 生					
学籍番号	-----					
現住所等	〒 携帯電話					
(Eメールアドレス)	-----					
所属大学・学部・学科						
志望する協定大学・複合領域コース	大学 複合領域コース名：					コース
志望（出願）理由						
履修予定科目名	授業科目名	担当教員	単位数	開講学期等		
				期	曜日	時限

複合領域コース 連絡票

所属大学名: _____ 学部学科名: _____

学籍番号: _____

ふりがな

コース名: _____ 氏名: _____

連絡先	TEL. 1	
	TEL. 2	
	アドレス1	
	アドレス2	
	住所	〒

☆ -ハイフンとアンダーバー、。オーと0 ゼロなど紛らわしい場合はフリガナをつけること

- * この連絡票は、複合領域コース授業の連絡手段としてのみ使用します。
- * 必ず連絡のとれる連絡先を記入すること。
- * 課題等もメールでお知らせするので添付ファイルが受信できるアドレスを記入すること。携帯アドレスのみは不可。

平成 年度 前期 ・ 後期 四大学連合 複合領域コース出席票(東京医科歯科大学)

コース名:

大学名: 学年: 学籍番号:

氏名(ふりがな):

↓添付ファイルが受け取れるメールアドレス

※ 授業ごとに担当教員のサインを貰ってください。サインのない場合は欠席とみなします。
(所属大学の授業と重なった場合は公欠扱いとなります。教務課科目担当掛まで連絡してください。)

※ 複数科目ある場合でも、科目毎に終了したらその都度、教務課へ提出してください。
(科目毎に出席票のコピーをお渡しします。)

※ いったん登録した履修を取消したい場合は直ちに下記担当まで連絡してください。

科目名(各自で記入)		
	講師 サイン欄	出席日時 (各自で記入)
1		月 日() 限目
2		月 日() 限目
3		月 日() 限目
4		月 日() 限目
5		月 日() 限目
6		月 日() 限目
7		月 日() 限目
8		月 日() 限目
9		月 日() 限目
10		月 日() 限目
11		月 日() 限目
12		月 日() 限目
13		月 日() 限目
14		月 日() 限目
15		月 日() 限目
16		月 日() 限目
17		月 日() 限目
18		月 日() 限目
19		月 日() 限目
20		月 日() 限目
21		月 日() 限目
22		月 日() 限目
23		月 日() 限目
24		月 日() 限目
25		月 日() 限目

科目名(各自で記入)		
	講師 サイン欄	出席日時 (各自で記入)
1		月 日() 限目
2		月 日() 限目
3		月 日() 限目
4		月 日() 限目
5		月 日() 限目
6		月 日() 限目
7		月 日() 限目
8		月 日() 限目
9		月 日() 限目
10		月 日() 限目
11		月 日() 限目
12		月 日() 限目
13		月 日() 限目
14		月 日() 限目
15		月 日() 限目
16		月 日() 限目
17		月 日() 限目
18		月 日() 限目
19		月 日() 限目
20		月 日() 限目
21		月 日() 限目
22		月 日() 限目
23		月 日() 限目
24		月 日() 限目
25		月 日() 限目

科目名(各自で記入)		
	講師 サイン欄	出席日時 (各自で記入)
1		月 日() 限目
2		月 日() 限目
3		月 日() 限目
4		月 日() 限目
5		月 日() 限目
6		月 日() 限目
7		月 日() 限目
8		月 日() 限目
9		月 日() 限目
10		月 日() 限目
11		月 日() 限目
12		月 日() 限目
13		月 日() 限目
14		月 日() 限目
15		月 日() 限目
16		月 日() 限目
17		月 日() 限目
18		月 日() 限目
19		月 日() 限目
20		月 日() 限目
21		月 日() 限目
22		月 日() 限目
23		月 日() 限目
24		月 日() 限目
25		月 日() 限目

担当・問合せ先 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学 学務部教務課

- ◆医学部医学科目受講について……………医学教務掛 TEL:03-5803-5120 E-mail:gakumu1@ml.tmd.ac.jp
- ◆医学部保健衛生学科目受講について…保健衛生教務掛 TEL:03-5803-5121 E-mail:gakumu2.adm@cmn.tmd.ac.jp
- ◆歯学部科目受講について……………歯学系教務掛 TEL:03-5803-5411 E-mail:s-kyomu.adm@ml.tmd.ac.jp
- ◆研究科科目受講について……………大学院室 TEL:03-5803-4534 E-mail:grad.bio.adm@tmd.ac.jp

四大学連合・複合領域コースの概要

－コースのねらい、開設科目について－

◎3 大学間共通コース(東京医科歯科大学、東京工業大学、一橋大学)

1. 総合生命科学コース

(1) コースのねらい、趣旨

人間は生物学的な存在であると同時に社会的存在でもあることはいうまでもない。また、近年の生命科学の進歩は著しく、人間のゲノム解析もほぼ終了した中で、社会との関わりなど、広い視野をもつ人材が強く望まれている。

本コースでは、生命現象の基本とその応用、さらには人間の社会的存在を支える社会科学的な側面、特に法律的な側面ならびに言語・心理学的な側面について講義を行う。基礎医学・生物学的な面から、発生学・細胞生物学・分子生物学などに加えて、解剖学・生理学、あるいは脳の世紀を迎えて発展の著しい神経科学の講義を実施する。また、生命工学の視点からは、ゲノム情報・遺伝情報の基礎とその応用について講義を行う。これらの講義を通じて、生物・生命について考究する。加えて、医療と法律との関連について講義する。特に憲法・民法・刑法といった法律や生命倫理学からみた生殖医療などについての講義を行う。さらに、臨床医学の分野については、癌に関する基礎と臨床や法律との関連の深い救急医療などに関して講義を実施する。

このようなコースを開設し、医学・歯学・理学・工学・法学・社会学を横断する知識を有する人材の育成を図る。

(2) 開設科目

各コースの授業科目(予定)一覧表を参照のこと。

(3) 実施要領

医歯大担当者	: 水澤英洋(脳神経病態学)、大谷啓一(硬組織薬理学)
東工大担当者	: ○中村聡(生物プロセス)、工藤明(生命情報)
一橋大担当者	: 高橋滋(法)
コース定員	: 若干名
コース修了要件単位数	: 自大学・他大学を問わず、各大学から最低 4 単位ずつを履修し、計 20 単位以上 単位数(自大学－他大学) (4－4－4)＋8

2. 海外協力コース

(1) コースのねらい、趣旨

21 世紀の海外協力(および技術開発)においては、海外に対する広い視野と見識及び卓越した専門技術を習得した人材が不可欠である。もとより、このような人材を育成する努力は各大学で行われているが、3 大学が協力することにより、さらに幅広い見識及び開発協力を有する人材を育成することを目的とする。

すなわち、理工学、社会科学、医学・歯学のいずれかのベースを持つ学生が、本コースにより他

分野の素養と海外に対する広い視野、見識を身につけることを可能にする。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）一覧表を参照のこと。

(3) 実施要領

医歯大担当者	: 高野健人(健康推進医学)、宮坂信之(膠原病・リウマチ内科学)、森尾郁子(歯学教育開発学)
東工大担当者	: ○日野出洋文(国際開発工学)、大即信明(国際開発工学)
一橋大担当者	: 児玉谷史朗(社)
コース定員	: 若干名
コース修了要件単位数	: 単位数(自大学－他大学) 12－4－4、12－6－2

3. 生活空間研究コース

(1) コースのねらい、趣旨

人類はその長い歴史の中で、様々な危険から自分たちの生命と財産を守るための生活空間を構築してきた。飢餓の恐怖から脱出したかに見える現代人はさらに一層の生活空間の快適化を求めているが、同時に現代文明の発達に伴い生成された副産物の逆作用の危険に直面してもいる。

日本の現状に目を向けるならば、国土の保全、都市の開発、住居の建築と維持管理、交通の計画と管理、衛生と健康の改善と管理など、生活空間の安全化と快適化に関与する経済活動や就業人口がきわめて膨大なものであり、私たちが、供給できる資金や人的エネルギーの相当大的な割合をそれらに振り向けていることは間違いない。しかしながら、残念なことに、私たちはそうした資金や人的エネルギーの投下量に見合った「安心」、「快適さ」、「満足感」を獲得しているとは言いにくい。複雑化し、高度化しつつある現代社会は専門家たちの専門領域を越えた協働を不可欠のものとしているし、そうした協働の基盤となる複合領域的な性格の知識、スキル、意志決定力をこれらの専門家たちが具備することが必要とされてきている。

例えば、物質的な自然の状況に加え、歴史、文化、産業、住民の健康、自治体の財政など地域社会の全体構造をふまえてもっとも望ましい開発計画を策定し、実行しうる土木技術者、といった存在はその一例であろう。

生活空間コースは、土木工学、衛生学、公共システムに関する経済学・経営学、地域・都市と人口・労働に関する社会学・経済学などの異なる専門領域の専門家の交流と協働により、安心、安全、快適な生活空間の創造に貢献しうる知識とスキルと決断力を持つ人材の育成を目指している。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）一覧表を参照のこと。

(3) 実施要領

医歯大担当者	: 高野健人(健康推進医学)、川口陽子(健康推進歯学)
東工大担当者	: ○廣瀬壮一(情報環境学)、藤井聡(土木工学)
一橋大担当者	: 林大樹(社)、町村敬志(社)

コース定員 : 若干名

コース修了要件単位数 : 単位数(自大学ー他大学) 12-8-0、12-6-2、12-4-4

◎2 大学間コース(東京医科歯科大学、東京工業大学)

4. 医用工学コース

(1) コースのねらい、趣旨

工学系の学生には医学の基礎知識を、医学系の学生には工学の基礎知識を学ばせ、医用マイクロマシン、医療用ロボット、ドラッグデリバリーシステム、人工臓器、人工血液、人工骨、医用材料、医用計測などの先端テクノロジーに対する知識、関心を呼び起こし、課題探求型の実際研究者、技術者の下地を作る。

(2) 開設科目

各コースの授業科目(予定)一覧表を参照のこと。

(3) 実施要領

医歯大担当者 : 高橋英和(生体材料加工学、歯科器材・薬品開発センター)

東工大担当者 : ○吉川史郎(化学工学)、伊能教夫(機械制御システム)

コース定員 : 若干名

コース修了要件単位数 : 単位数(自大学ー他大学) 14-6

◎2 大学間コース(東京医科歯科大学、一橋大学)

5. 医療・介護・経済コース

(1) コースのねらい、趣旨

21世紀にあるべき医療制度、医療介護システム、社会システム、福祉システム及び相互の関連について学ぶコースである。巨大化した従来の医療制度や福祉システムの再点検、再構築は目下の急務となっており、学際的な学識を有し創造的な発想を持つ人材が求められている。

本コースでは医療、介護、福祉に必要な行政学、経済学、法律学、社会学、エコロジカルな概念や医学、歯学の基本について学び、多面的総合的な学識を併せ持つ人材を養成する。

(2) 開設科目

各コースの授業科目(予定)一覧表を参照のこと。

(3) 実施要領

医歯大担当者 : ○河原和夫(政策科学)、高瀬浩造(研究開発学)、
廣瀬たい子(小児・家族発達看護学)

一橋大担当者 : 佐藤主光(財政学)、田近栄治(財政学)

コース定員 : 若干名

コース修了要件単位数 : 単位数(自大学ー他大学) 14-6

*** 医学部保健衛生学科への転入学についての注意 ***

医学部保健衛生学科（看護学専攻・検査技術学専攻）への転入学を希望する者は転入学までに下記の科目の単位を修得しておくこと。（下記の科目が開講されていないコースがあるのでコース選択時は注意すること）

医学部保健衛生学科 看護学専攻

- ・解剖学 I
- ・基礎看護学 I
- ・看護の統合と実践 I

※転入学後、2年次に基礎看護学実習 I を履修すること

医学部保健衛生学科 検査技術学専攻

- ・人体構造学講義（I）
- ・先端医療技術論

以上

四大学連合・複合領域コース コース別授業科目(予定)一覧

注:1. 東京医科歯科大学関係について

(1) 特別聴講学生は講義のみ受講し、実習には参加しない。

(2) 「開設科目」欄

(医)は医学部医学科、(保・看)は医学部保健衛生学科看護学専攻、(保・検)は同学科検査技術学専攻、(歯)は歯学部歯学科、(口)は歯学部口腔保健学科、(院)は大学院医歯学総合研究科医歯理工学専攻修士課程の科目を表す。

(3) 開設曜日、時間

「開設曜日」、「時間(時限)」は、「授業時間割」を参照すること。

(4) 医学部保健衛生学科科目について

医学部保健衛生学科は8コマで1単位、15コマで2単位、23コマで3単位…となるが、1科目で全ての単位を取得出来ない場合は、履修登録前に担当教員と相談すること。

注:2. 東京工業大学関係について

下記の時間割のうち、後学期については昨年度の内容を掲載している。後学期の時間割は9月中～下旬以降に問い合わせること。または、東京工業大学HPで確認すること。

《複合領域コース》<http://www.gakumu.titech.ac.jp/kyoumu/yondai/>

①総合生命科学コース

大学名	開設科目	単位	対象学年・学期	開設曜日	時間(時限)		
東京 医科歯科 大 学	救命救急医学(医)	1	4学年前期	「授業時間割」を参照			
	頭頸部外科学(医)	0.5	4学年前期				
	衛生学(医)	1	3学年前期・後期				
	内分泌代謝(医)	1	3学年後期				
	循環器学(医)	2.5	3学年後期				
	神経科学(医)	7.5	3学年前・後期				
	解剖学Ⅰ・人体構造学講義Ⅰ(保・看・検)	2	1学年後期			「授業時間割」を参照	
	解剖学Ⅱ・人体構造学講義Ⅱ(保・看・検)	1	2学年前期				
	生化学・生化学講義(保・看・検)	2	2学年前期・後期				
	薬理学Ⅰ(保・看)	1	2学年後期				
	薬理学Ⅱ(保・看)	1	2学年後期				
	病理学(保・看)	1	2学年前期				
	病理検査学講義(保・検)	4	2学年前・後期				
	微生物学・病原体検査学講義Ⅰ(保・看・検)	1	2学年前期				
	栄養学(保・看)	1	2学年後期				
	病態学(保・看)	5	2学年前・後期				
	産業保健学(保・看)	1	4学年前期	「授業時間割」を参照			
	保健医療福祉制度論(保・看)	2	4学年前期				
	基礎看護学Ⅰ(保・看)	1	1学年前期				
	基礎看護学Ⅱ(保・看)	1	2学年前期				
精神看護学(保・看)	2	2学年後期					
地域精神看護学(保・看)	1	3学年前期					
看護心理学(保・看)	1	1学年後期					
看護の統合と実践Ⅰ(保・看)	2	1学年後期					
血液検査学講義(保・検)	2	3学年前期					
医用システム情報学講義Ⅰ(保・検)	2	2学年前期					
医用システム情報学講義Ⅱ(保・検)	1	3学年前期					

遺伝子・染色体検査学講義(保・検)	2	2学年前期	
医療概論・関係法規(保・検)	1	2学年前期	
臨床病態学Ⅰ(保・検)	2	2学年前期	
先端医療技術論(保・検)	1	1学年前・後期	
健康食品総論(保・検)	2	3学年前期	
病理学・口腔病理学(口腔領域の病理)(歯)	1	～3月	「授業時間割」を参照
薬理学・歯科薬理学(感染の予防および治療薬)(歯)	1	5～6月	
咀嚼と嚥下のバイオロジー・骨のバイオロジー(歯)	1	10～2月	
ことばの世界・オクルジョン・歯科と色(歯)	1	1～2月	
人体形態学(院)	1	4/11～4/27(8コマ)	
口腔形態学(院)	1	4/11～4/27(8コマ)	「授業時間割」を参照
人体機能学(院)	1	5/17～5/29(8コマ)	
病理病態学(院)	1	5/7～5/18(8コマ)	
医歯学総合概論(院)	2	4/11～5/15(15コマ)	
生化学(院)	2	5/9～5/29(15コマ)	
薬理学(院)	2	5/30～6/19(15コマ)	
※機能分子化学(院)	2	10/1～11/20(15コマ)	
※免疫学(院)	2	10/5～11/22(15コマ)	
遺伝医学特論(院)	2	5/31～6/14(15コマ)	
※神経疾患特論(院)	2	6/14～6/22(10コマ)	

- <注意> ① ※の科目は共通科目定期試験週間に試験を行う。(7/17～7/20または11/26-11/30)
 ② 講義回数が10コマの科目は残り5コマを別途指定する。

東京工業大学	細胞生物学	2	3学年前期	月	3～4
	生体高分子学	2	3学年前期	木	7～8
	分子遺伝学	2	3学年前期	金	3～4
	生体代謝化学	2	3学年前期	木	5～6
	分子神経科学	2	3学年前期	火	1～2
	生物環境論	2	3学年前期	集	中
	発生生物学	2	3学年前期	金	5～6
	○生体情報学	2	3学年前期	木	3～4
	ナノバイオインテリジェンス	2	4学年前期	月	7～8
	企業社会論	2	4学年前期	金	7～8
	生物有機科学	2	3学年前期	木	3～4
	生物化学工学	2	3学年前期	月	3～4
	酵素工学	2	3学年前期	月	5～6
	分子生物学(生物・情報)	2	3学年前期	木	1～2
	生物物理化学第一(生物)	2	3学年前期	金	3～4
	生物物理化学第一(分子)	2	3学年前期	金	3～4
	有機化学第三	2	3学年前期	金	7～8
	機器分析概論	2	3学年前期	金	5～6
	☆生物工学基礎	2	2学年前期	金	7～8
	細胞生理工学	2	3学年前期	月	3～4
	生体有機化学	2	3学年前期	月	1～2
	生物有機化学	2	3学年後期	火	3～4
	分子生理学	2	3学年後期	木	3～4
	分子進化学	2	3学年後期	木	5～6
	多様性生物学	2	3学年後期	火	1～2
	微生物科学	2	3学年後期	木	7～8
	生物構造化学				(平成24年度休講)

	植物生理学	2	3学年後期	金	7~8
	生命倫理学概論	2	3学年後期	集	中 講 義
	生命情報工学基礎	2	3学年後期	金	5~6
	生物関連法規概論	2	3学年後期	金	7~8
	生命理工学実験法	2	3学年後期	金	3~4
	バイオ統計学	2	3学年後期	金	1~2
	遺伝子工学(情報)	2	3学年後期	木	5~6
	○遺伝子工学(生物)	2	3学年後期	木	5~6
	細胞工学	2	3学年後期	月	3~4
	微生物工学	2	3学年後期	金	5~6
	応用生物工学	2	3学年後期	月	5~6
	生物物理化学第二	2	3学年後期	木	3~4
	有機化学第四	2	3学年後期	月	3~4
	生体高分子科学	2	3学年後期	木	1~2
	生体分光學	2	3学年後期	集	中 講 義
	応用分子生物学	2	3学年後期	火	3~4
<注意>	<p>① 開設科目に「○」が付されているものは、授業科目は本コースの推奨科目である。</p> <p>② 開設科目に「☆」が付されているものは、大岡山キャンパス開講の科目である。それ以外はすべてすずかけ台キャンパスで開講する。</p> <p>③ 集中講義の日程については掲示等により別途通知を行う。</p> <p>④ 各授業科目に関する注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分子神経科学:21年度以前は「生物物理学」として開講 ・酵素工学:20年度以前は「応用生物工学第一」として開講 ・生物物理化学第一:2つのクラスが開講されているがいずれか一方を履修すること(同時履修は不可) ・遺伝子工学:「生物物理化学第一」と同様 				
一橋大学	ことばと社会	2	冬学期	金	3
	コミュニケーション論				(平成24年度休講)
	民法(家族)	4	夏ゼメ	月・水	2
	環境法				(平成24年度休講)
	刑法Ⅱ	4	冬ゼメ	月・水	1
	言語社会学特論	2	冬学期	木	3
	民法(債権各論)	4	夏ゼメ	月・水	1
	社会心理学Ⅰ(社会的分野)	2	夏学期	金	3
	社会心理学Ⅱ(心理的分野)	2	冬学期	月	4
	情報法				(平成24年度休講)
	○生命科学と法Ⅰ	2	冬学期	水	2
	○生命科学と法Ⅱ				(平成24年度休講)
	○社会倫理学	2	夏学期	木	3
	対人関係心理学	2	夏学期	火	1
<注意>	① ○のついた授業科目は、本コースの推奨科目である。他大学の学生の履修を推奨する。				

②海外協力コース

大学名	開設科目	単位	対象学年・学期	開設曜日	時間(時限)
東京 医科歯科 大学	救命救急医学(医)	1	4学年前期		「授業時間割」を参照
	生理学(医)	1.5	3学年前期		
	医動物学(医)	1	3学年後期		
	社会医学(医)	1.5	3学年前・後期		
	感染(医)	3	3学年前期		
	医事法学(医)	0.5	3学年後期		
	衛生学(医)	1	3学年前・後期		
	薬理学Ⅰ(保・看)	1	2学年後期	「授業時間割」を参照	
	薬理学Ⅱ(保・看)	1	2学年後期		
	病理学(保・看)	1	2学年前期		
	病理検査学講義(保・検)	4	2学年前・後期		
	微生物学・病原体検査学講義Ⅰ(保・看・検)	1	2学年前期		
	栄養学(保・看)	1	2学年後期		
	病態学(保・看)	5	2学年前・後期		
	産業保健学(保・看)	1	4学年前期		
	保健医療福祉制度論(保・看)	2	4学年前期		
	基礎看護学Ⅰ(保・看)	1	1学年前期		
	基礎看護学Ⅱ(保・看)	1	2学年前期		
	精神看護学(保・看)	2	2学年後期		
	地域精神看護学(保・看)	1	3学年前期		
	看護心理学(保・看)	1	1学年後期		
	看護の統合と実践Ⅰ(保・看)	2	1学年後期		
	分析化学検査学講義Ⅰ(保・検)	3	2学年前・後期		
	遺伝子・染色体検査学講義(保・検)	2	2学年前期		
	公衆衛生学講義(保・検)	2	2学年前期		
	医療概論・関係法規(保・検)	1	2学年前期		
	臨床病態学Ⅰ(保・検)	2	2学年前期		
	健康食品総論(保・検)	2	3学年前期		
	医学英語入門(歯)	1	4~6月	「授業時間割」を参照	
	感染と免疫概論(歯)	1	11~12月		
	医歯学総合概論(院)	2	4/11~5/15(15コマ)	「授業時間割」を参照	
	東京 工業大学	B 有機化学(工)第二	2	2学年前期	月
B 無機化学(工)第一		2	2学年前期	火	5~6
A、B 生物化学工学概論		2	4学年前期	金	3~4
A、C 一般機械工学		2	3、4学年前期	金	1~2
C 機械運動システム学		2	2学年前期	木	3~4
○ 国際開発論		2	2学年前期	火	7~8
				木	7~8
○ 開発経済学概論		2	2学年前期	水	3~4
				金	3~4
△ 工学数学A		2	2学年前期	月	7~8
	水			3~4	
△ 工学数学B	2	2学年前期	火	5~6	
			木	5~6	

A、D 電気学第一	2	2学年前期	金	3～4
※B 有機化学(工)第一	2	1学年後期	金	7～8
※A、D 情報基礎学	2	1学年後期	金	5～6
A、B 基礎化学工学	2	2学年後期	月	7～8
A、C 地球環境科学	2	3、4学年後期	木	3～4
○ 環境政策・制度論	2	2学年後期	火	5～6
			木	5～6
△ 工学数学C	2	2学年後期	水	3～4
			金	3～4
○ プロジェクトマネジメント	2	2学年後期	水	3～4
			金	3～4
△ 物理数学	2	2学年後期	月	1～2
			水	1～2
A、D コンピュータアーキテクチャ	2	3学年後期	金	1～2
D 電力工学 I	2	3学年後期	金	7～8
A、E 土木史・土木技術者倫理	2	3学年後期	月	3～4
E 水文・河川工学	2	3学年後期	金	1～2

<注意>

- ① 開設科目に「※」が付されているものは、東京工業大学所属の学生が本コースの修了要件に含めることはできない。
- ② 開設科目に「○」が付されているものは、本コースの推奨科目である。
- ③ 開設科目に「△」が付されているものは、()内にA以外を含む科目(△をのぞく)を履修する場合に、数学に自信のない学生に履修してほしい科目である。
- ④ 特に定まった組み合わせはないが、A(一般)、B(化工系)、C(機械系)、D(電気・情報系)、E(土木系)となっている。
- ⑤ 各授業科目に関する注意点
 - ・国際開発論、工学数学A、環境政策・制度論、物理数学: 学期の前半に開講する(クォーター制)
 - ・開発経済学概論、工学数学B、プロジェクトマネジメント: 学期の後半に開講する(クォーター制)
 - ・国際開発論、開発経済学概論、工学数学A、工学数学B、環境政策・制度論、工学数学C、プロジェクトマネジメント、物理数学: 右に記されている時限の両方に出席する必要がある。
 - ・電気学第一、有機化学(工)第一、情報基礎学: 複数クラス開講

一橋大学	※アジアの社会と文化	2	夏学期	火	4
	アジア社会史総論	2	冬学期	火	3
	※アジア社会史特論	2	冬学期	水	2
	※国際開発論(国際協力の社会学)	2	夏学期	水	2
	国際社会学 I	2	夏学期	水	2
	国際社会学 II	2	冬学期	火	2
	※社会開発論(開発と途上国社会)	2	冬学期	金	1
	※地域研究(アジア・アフリカ)	2	冬学期	金	2
	地球社会の課題(南北問題の基礎)	2	夏学期	火	2
	比較教育学				(平成24年度休講)
	※民族誌	2	冬学期	木	2

<注意>

- ① ※印のついた授業科目は、3年次以上を対象とする。

③生活空間研究コース

大学名	開設科目	単位	対象学年・学期	開設曜日	時間(時限)		
東京 医科歯科 大学	救命救急医学(医)	1	4学年前期	「授業時間割」を参照			
	公衆衛生学(医)	0.5	4学年前期				
	生理学(医)	1.5	3学年前期				
	医動物学(医)	1	3学年後期				
	生殖・発達・加齢(医)	1.5	3学年前・後期				
	社会医学(医)	1.5	3学年前・後期				
	感染(医)	3	3学年前期				
	医事法学(医)	0.5	3学年後期				
	衛生学(医)	1	3学年前・後期				
	薬理学Ⅰ(保・看)	1	2学年後期			「授業時間割」を参照	
	薬理学Ⅱ(保・看)	1	2学年後期				
	病理学(保・看)	1	2学年前期				
	病理検査学講義(保・検)	4	2学年前・後期				
	微生物学・病原体検査学講義Ⅰ(保・看・検)	1	2学年前期				
	栄養学(保・看)	1	2学年後期				
	病態学(保・看)	5	2学年前・後期				
	産業保健学(保・看)	1	4学年前期				
	保健医療福祉制度論(保・看)	2	4学年前期				
	基礎看護学Ⅰ(保・看)	1	1学年前期				
	基礎看護学Ⅱ(保・看)	1	2学年前期				
	精神看護学(保・看)	2	2学年後期				
	地域精神看護学(保・看)	1	3学年前期				
	看護心理学(保・看)	1	1学年後期				
	看護の統合と実践Ⅰ(保・看)	2	1学年後期				
	分析化学検査学講義Ⅰ(保・検)	3	2学年前・後期				
	遺伝子・染色体検査学講義(保・検)	2	2学年前期				
	公衆衛生学講義(保・検)	2	2学年前期				
	医療概論・関係法規(保・検)	1	2学年前期				
	臨床病態学Ⅰ(保・検)	2	2学年前期				
	健康食品総論(保・検)	2	3学年前期				
環境・社会1・2(歯)	1	5月～7月	「授業時間割」を参照				
環境社会医歯学(院)	1	5/21～6/1(8コマ)	「授業時間割」を参照				
医歯学総合概論(院)	2	4/11～5/15(15コマ)					
東京 工業大学	○土木計画の理論と数理	3	2学年前期	水	1～4		
	公共経済学	2	3学年前期	木	5～6		
	交通計画	2	3学年前期	水	1～2		
	○水環境計画	2	3学年前期	木	3～4		
	○工学と環境Ⅰ	2	2学年前期	金	3～4		
	環境ジレンマ論	2	3学年前期	金	3～4		
	都市・地域計画史	2	3学年前期	月	3～4		
	ランドスケープ概論	2	2学年前期	木	7～8		
	社会調査論	3	3学年前期	金	1～3		
地盤調査・施工学	3	3学年後期	月	5～6			

	空間デザイン	2	2学年後期	木	7～8
	都市計画学	2	3学年後期	木	1～2
	水文・河川工学	2	3学年後期	金	1～2
	○工学と環境Ⅱ	2	2学年後期	金	7～8
	土木史・土木技術者倫理	2	3学年後期	月	3～4
	国土計画特別講義	2	3学年後期	火	5～8
	景観学概論	2	2学年後期	木	3～4
	住環境計画論	2	2学年後期	火	7～8
<注意>	① 開設科目に「○」が付されているものは、授業科目は本コースの推奨科目である。				
一橋大学	まちづくり(2012(夏))	2	夏学期	水	2
	まちづくり(2012(冬))	2	冬学期	水	2
	※地域・都市社会学			(平成24年度休講)	
	人間環境論	2	冬学期	金	2
	コミュニティ政策論	2	夏学期	金	2
	社会組織論	2	夏学期	金	1
	環境デザイン論	2	冬学期	金	1
	※家族社会学			(平成24年度休講)	
	社会調査法Ⅰ	2	冬学期	木	2
	社会調査法Ⅱ	2	冬学期	木	3
<注意>	① ※印のついた授業科目は、3年次以上を対象とする。				

④医用工学コース

大学名	開設科目	単位	対象学年・学期	開設曜日	時間(時限)
東京 医科歯科 大学	救命救急医学(医)	1	4学年前期		「授業時間割」を参照
	生理学(医)	1.5	3学年前期		
	医動物学(医)	1	3学年後期		
	整形外科学(医)	1.5	4学年前期		
	循環器学(医)	2.5	3学年後期		
	眼科学(医)	1	4学年前期		
	代謝内分泌(医)	1	3学年後期		
	社会医学(医)	1.5	3学年前・後期		
	感染(医)	3	3学年前期		
	医事法学(医)	0.5	3学年後期		
	衛生学(医)	1	3学年前・後期		「授業時間割」を参照
	解剖学Ⅰ・人体構造学講義Ⅰ(保・看・検)	2	1学年後期		
	薬理学Ⅰ(保・看)	1	2学年後期		
	薬理学Ⅱ(保・看)	1	2学年後期		
	病理学(保・看)	1	2学年前期		
	病理検査学講義(保・検)	4	2学年前・後期		
	微生物学・病原体検査学講義Ⅰ(保・看・検)	1	2学年前期		
	栄養学(保・看)	1	2学年後期		
	病態学(保・看)	5	2学年前・後期		
	産業保健学(保・看)	1	4学年前期		
	保健医療福祉制度論(保・看)	2	4学年前期		
	基礎看護学Ⅰ(保・看)	1	1学年前期		
	基礎看護学Ⅱ(保・看)	1	2学年前期		
	精神看護学(保・看)	2	2学年後期		
	地域精神看護学(保・看)	1	3学年前期		
	看護心理学(保・看)	1	1学年後期		
	看護の統合と実践Ⅰ(保・看)	2	1学年後期		
	血液検査学講義(保・検)	2	3学年前期		
	分析化学検査学講義Ⅰ(保・検)	3	2学年前・後期		
	医用システム情報学講義Ⅰ(保・検)	2	2学年前期		
	医用システム情報学講義Ⅱ(保・検)	1	3学年前期		
	遺伝子・染色体検査学講義(保・検)	2	2学年前期		
	公衆衛生学講義(保・検)	2	2学年前期		
医療概論・関係法規(保・検)	1	2学年前期			
臨床病態学Ⅰ(保・検)	2	2学年前期			
先端医療技術論	1	1学年前・後期			
健康食品総論(保・検)	2	3学年前期			
生体材料の科学(歯)	1	1～2月		「授業時間割」を参照	
歯科生体材料の性質(歯)	1	1～2月			
医歯学総合概論(院)	2	4/11～5/15(15コマ)		「授業時間割」を参照	
※生体材料学(院)	2	5/10～6/28(15コマ)			
※バイオメディカル理工学(院)	1	6/20～6/29(8コマ)			
※バイオインフォマティクス(院)	2	5/9～6/27(15コマ)			
<注意>	① ※の科目は共通科目定期試験週間に試験を行う。(7/17～7/20) ② 講義回数が10コマの科目は後期に残り5コマを行う。				

東京 工業大学	材料科学B	2	2学年前期	水	3~4	
	表面物理化学	2	3学年前期	金	3~4	
	有機材料物性第一	2	3学年前期	木	5~6	
	セラミックス概論	2	2学年前期	水	1~2	
	移動論第一	2	2学年前期	月	7~8	
	生体高分子	2	3学年前期	金	5~8	
	材料力学第一	2	2学年前期	木	5~8	
	基礎トライボシステム	2	3学年前期	水	1~2	
	動的システム基礎	2	2学年前期	火	3~4	
	計測信号処理基礎	2	2、4学年前期	金	7~8	
	電気電子計測	2	2学年前期	金	7~8	
	☆生体高分子学	2	3学年前期	木	7~8	
	☆生体代謝化学	2	3学年前期	木	5~6	
	セラミックプロセッシング			(平成23年度休講)		
	複合材料科学	1	3学年後期	月	1~2	
	移動論第二	2	2学年後期	月	3~4	
	移動論第三	2	2学年後期	木	3~4	
	高分子物性	2	3学年後期	木	5~6	
	高分子工業化学	2	3学年後期	金	5~6	
	基礎生命工学	2	3学年後期	火	3~4	
	材料力学第二	2	2学年後期	火	7~8	
	デジタル信号処理	2	3学年後期	金	3~4	
	☆細胞工学	2	3学年後期	月	3~4	
	☆分子生理学	2	3学年後期	木	3~4	
	<注意>	<p>① 開設科目に「☆」が付されているものは、すずかけ台キャンパス開講の科目である。それ以外はすべて大岡山キャンパスで開講する。</p> <p>② 各授業科目に関する注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料力学第一: 学期の前半に開講する(クォーター制) ・材料力学第二: 学期の後半に開講する(クォーター制) ・電気電子計測: 複数クラス開講 				

⑤医療・介護・経済コース

大学名	開設科目	単位	対象学年・学期	開設曜日	時間(時限)	
東京 医科歯科 大 学	救命救急医学(医)	1	4学年前期	「授業時間割」を参照		
	生理学(医)	1.5	3学年前期			
	医動物学(医)	1	3学年後期			
	整形外科学(医)	1.5	4学年前期			
	循環器学(医)	2.5	3学年後期			
	眼科学(医)	1	4学年前期			
	代謝内分泌(医)	1	3学年後期			
	社会医学(医)	1.5	3学年前・後期			
	感染(医)	3	3学年前期			
	医事法学(医)	0.5	3学年後期			
	衛生学(医)	1	3学年前・後期			
	耳鼻咽喉科学(医)	1	4学年前期			
	薬理学Ⅰ(保・看)	1	2学年後期			「授業時間割」を参照
	薬理学Ⅱ(保・看)	1	2学年後期			
	病理学(保・看)	1	2学年前期			
	病理検査学講義(保・検)	4	2学年前・後期			
	微生物学・病原体検査学講義Ⅰ(保・看・検)	1	2学年前期			
	栄養学(保・看)	1	2学年後期			
	病態学(保・看)	5	2学年前・後期			
	保健統計学(保・看)	1	4学年前期			
	産業保健学(保・看)	1	4学年前期			
	保健医療福祉制度論(保・看)	2	4学年前期			
	基礎看護学Ⅰ(保・看)	1	1学年前期			
	基礎看護学Ⅱ(保・看)	1	2学年前期			
	精神看護学(保・看)	2	2学年後期			
	地域精神看護学(保・看)	1	3学年前期			
	看護心理学(保・看)	1	1学年後期			
	小児看護学Ⅰ(保・看)	1	2学年前期			
	地域看護学Ⅰ(保・看)	1	3学年前期			
	地域看護学Ⅱ(保・看)	1	3学年前期			
	地域看護学Ⅲ(保・看)	2	4学年前期			
	在宅看護学Ⅰ(保・看)	1	2学年後期			
	在宅看護学Ⅱ(保・看)	1	3学年前期			
緩和ケア看護学(保・看)	1	4学年前期				
看護の統合と実践Ⅰ(保・看)	2	1学年後期				
血液検査学講義(保・検)	2	3学年前期				
分析化学検査学講義Ⅰ(保・検)	3	2学年前・後期				
医用システム情報学講義Ⅰ(保・検)	2	2学年前期				
医用システム情報学講義Ⅱ(保・検)	1	3学年前期				
遺伝子・染色体検査学講義(保・検)	2	2学年前期				
公衆衛生学講義(保・検)	2	2学年前期				
医療概論・関係法規(保・検)	1	2学年前期				
臨床病態学Ⅰ(保・検)	2	2学年前期				
先端医療技術論(保・検)	1	1学年前・後期				
健康食品総論(保・検)	2	3学年前期				

	小児の成長発育と咬合育成(歯)	1	10～11月	「授業時間割」を参照	
	歯科医療と救急医療(歯)	1	6～7月		
	顎口腔機能訓練法(口)	1	6～7月		
	顎口腔機能リハビリテーション(口)	1	10～11月	「授業時間割」を参照	
	ヘルスカウンセリング論(口)	1	5～7月		
	医歯学総合概論(院)	2	4/11～5/15(15コマ)	「授業時間割」を参照	
	※医療提供政策論(院)	1	4月		
	※健康情報データベースと統計分析(院)	1	12月		
	医療機関リスク管理(院)	1	6月		
	病院情報管理学(院)	1	7月		
	※医療計画制度(院)	1	5月		
	※医療機能評価(院)	1	6月		
<注意>	<p>※の科目は一橋大学国立キャンパスで開講する。 履修登録期日並びに講義時間等の詳細は開講の2月前に発表する。 「医療提供政策論」と「健康情報データベースと統計分析」、「医療機関リスク管理」と「病院情報管理学」、 「医療計画制度」と「医療機能評価」は合同講義であるが、2科目履修登録することは差し支えない。</p>				
一橋大学	○経済学入門	2	夏学期	水	2
	○経済学入門	2	夏学期	月	2
	○経済学入門	2	冬学期	水	2
	○基礎ミクロ経済学	4	夏ゼメ	火・金	2
	○基礎ミクロ経済学	4	冬ゼメ	月・水	2
	基礎計量経済学	4	夏ゼメ	月・木	3
	基礎計量経済学	4	冬ゼメ	月・木	3
	○医療経済論Ⅰ			(平成24年度休講)	
	○医療経済論Ⅱ	2	冬学期	金	18:00～21:00
	○医療保険論	2	夏学期	火	18:00～21:00
	○医療産業論	2	夏学期	金	18:00～21:00
	○健康増進政策論・医学総論	2	夏学期	集中講義	
	○医療管理政策論	2	冬学期	集中講義	
	○保健医療活動とリスク管理			(平成24年度休講)	
	○財政学	4	夏ゼメ	火・金	1
<注意>	<p>① ○のついた授業科目は、本コースの推奨科目である。他大学の学生の履修を推奨する。</p> <p>② 「医療経済論Ⅱ」、「医療保険論」、「医療産業論」は東京医科歯科大学で夜間に開講される。1日につき2コマ分(3時間)の講義を行い、講義日は計7日である。「医療保険論」は4月17日から火曜日に、「医療産業論」は5月25日から金曜日に、「医療経済論Ⅱ」は10月5日から金曜日にそれぞれ開講される。</p> <p>③ 「健康増進政策論・医学総論」を履修する場合、東京医科歯科大学大学院MMAコースの講義「健康情報データベースと統計分析」ならびに「医療提供政策論」を重複して履修することができないので注意すること。</p> <p>④ 「医療管理政策論」を履修する場合、東京医科歯科大学大学院MMAコースの講義「医療機能評価」ならびに「医療計画制度」を重複して履修することができないので注意すること。</p> <p>⑤ 「保健医療活動とリスク管理」を履修する場合、東京医科歯科大学大学院MMAコースの講義「医療機関リスク管理」ならびに「病院情報管理学」を重複して履修することができないので注意すること。</p>				

平成 24 年 度 「 授 業 時 間 割 」

医学部医学科時間割

講 義 室	
A	共用講義室 1 M&Dタワー2階
B	3号館3階 講義室
C	鈴木章夫記念講堂 M&Dタワー2階

4 学年 前期 公衆衛生学

月日	曜日	授 業 時 間	授 業 内 容	担 当 教 員	講 義 室
4/23	月	14:20~15:40	公衆衛生学総論	高野健人	B
4/24	火	14:20~15:40	健康増進政策の立案と評価	河原和夫	B
4/27	金	14:20~15:40	疫学・臨床疫学	高野健人	B
5/2	水	10:30~11:50	地域保健	中村桂子	B
5/7	月	10:30~11:50	母子保健・学校保健	高野健人	B
5/8	火	12:50~14:10	衛生行政の実際	高野健人	B
5/9	水	12:50~14:10	産業保健・産業医学と産業医	高野健人	B

4 学年 前期 眼科学

月日	曜日	授 業 時 間	授 業 内 容	担 当 教 員	講 義 室
4/24	火	12:50~14:10	眼科序論	望月 學	B
4/25	水	14:20~15:40	眼症候学	鴨居功樹	B
4/27	金	12:50~14:10	斜視・弱視	田中明子	B
5/7	月	12:50~14:10	眼科検査法概論	宮永 将	B
5/11	金	10:30~11:50	角結膜疾患	(佐々木秀次)	B
5/15	火	10:30~11:50	小児眼科・未熟児眼	(東 範行)	B
5/16	水	10:30~11:50	神経眼科	(清澤源弘)	B
5/22	火	10:30~11:50	屈折異常・調節障害	大野京子	B
5/23	水	10:30~11:50	白内障	高瀬 博	B
5/29	火	10:30~11:50	ぶどう膜炎	(渡邊俊樹)	B
5/30	水	10:30~11:50	網膜血管病変・色覚	大野京子	B
6/1	金	12:50~14:10	緑内障	(白土城照)	B
6/11	月	10:30~11:50	網膜剥離・糖尿病網膜症	菅本良治	B
6/12	火	10:30~11:50	救急疾患・外傷	鴨居功樹	B

4 学年 前期 整形外科学

月日	曜日	授 業 時 間	授 業 内 容	担 当 教 員	講 義 室
5/15	火	12:50~14:10	整形外科の現状と未来	大川 淳	B
5/18	金	10:30~11:50	外傷学 (総論+下肢)	柳下和慶	B
5/28	月	10:30~11:50	外傷学 (上肢)+末梢神経疾患	若林良明	B
5/29	火	12:50~14:10	脊椎疾患(腰椎、脊柱変形)	大川 淳	B
6/12	火	14:20~15:40	脊椎疾患(頸椎、脊髓腫瘍)	川端茂徳	B
6/13	水	10:30~11:50	外傷学 (脊椎・脊髓)	加藤 剛	B
6/20	水	10:30~11:50	骨軟部腫瘍	(阿江啓介)	B
6/21	木	9:00~10:20	代謝性骨疾患	野田政樹 (竹田 秀)	B
6/26	火	9:00~10:20	肩・肘関節疾患とスポーツ整形	(中川照彦)	B
6/29	金	9:00~10:20	膝関節疾患とスポーツ整形	宗田 大	B
7/3	火	9:00~10:20	股関節疾患と小児整形外科	神野哲也 (瀬川裕子)	B
7/5	木	10:30~11:50	人工骨と生体材料	早乙女進一 (植村寿公)	B
7/9	月	14:20~15:40	iPSと軟骨再生	関矢一郎	B
7/12	木	9:00~10:20	リハビリテーション	森田定雄	B
7/13	金	12:50~14:10	リハビリテーション	森田定雄	B

4 学年 前期 耳鼻咽喉科学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
6/15	金	10:30~11:50	総論・耳科学1	喜多村 健	B
6/18	月	10:30~11:50	耳科学2	野口佳裕	B
7/2	月	9:00~10:20	耳科学3	高橋正時	B
7/5	木	9:00~10:20	耳科学4	角田篤信	B
7/10	火	14:20~15:40	鼻科学1	鈴木康弘	B
7/12	木	12:50~14:10	鼻科学2	野口佳裕	B
7/12	木	14:20~15:40	鼻科学3	戸叶尚史	B
7/19	木	12:50~14:10	咽頭1	岩崎朱美	B
7/19	木	14:20~15:40	咽頭2	喜多村 健	B
7/20	金	10:30~11:50	口腔・唾液腺	角 卓郎	B
7/25	水	12:50~14:10	咽頭・全身疾患	鈴木康弘	B
7/26	木	10:30~11:50	救急疾患	角田篤信	B

4 学年 前期 救命救急医学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
7/11	水	12:50~14:10	心肺脳蘇生法	大友康裕	B
7/17	火	14:20~15:40	ショック	相星淳一	B
7/23	月	14:20~15:40	外傷初療	大友康裕	B
7/27	金	10:30~11:50	外傷各論	加地正人	B
9/4	火	9:00~10:20	急性呼吸不全/人工呼吸法	三高千恵子	B
9/4	火	10:30~11:50	敗血症/多臓器不全	三高千恵子	B
9/7	金	12:50~14:10	輸液療法	白石 淳	B
9/10	月	12:50~14:10	血液浄化、急性中毒	村田希吉	B
9/19	水	9:00~10:20	災害医学概論	大友康裕	B
9/19	水	10:30~11:50	災害医療机上シミュレーション	大友康裕	B
9/20	木	10:30~11:50	救急領域における感染症、体温異常他	登坂直規	B

4 学年 前期 頭頸部外科学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
9/3	月	10:30~11:50	総論、聴器、鼻副鼻腔、上咽頭、頭蓋底の腫瘍	岸本誠司	B
9/5	水	12:50~14:10	中咽頭・口腔・唾液腺の腫瘍	杉本太郎	B
9/6	木	12:50~14:10	喉頭・下咽頭の腫瘍	杉本太郎	B
9/12	水	12:50~14:10	頭頸部癌の放射線治療	澁谷 均	B
9/13	木	12:50~14:10	頭蓋底・頭頸部再建術の現状と問題点	矢野智之	B
9/14	金	12:50~14:10	甲状腺・気管食道・頸部の疾患	角 卓郎	B
9/14	金	14:20~15:40	頭頸部領域の臨床解剖	秋田恵一	B
9/20	木	9:00~10:20	がん専門病院における頭頸部癌治療の現状	(癌研有明病院頭頸科 川端一嘉)	B

3 学年 前期 感染

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
4/10	火	10:30~11:50	病原体総論	山岡昇司	A
4/13	金	10:30~11:50	細菌学総論	(堀内三吉)	A
4/16	月	10:30~11:50	細菌感染の治療と予防	岡村 登	A
4/17	火	10:30~11:50	細菌遺伝学	中村正孝	A
4/20	金	9:00~10:20	グラム陽性菌の基礎知識	(堀内三吉)	A
4/20	金	10:30~11:50	グラム陰性菌の基礎知識	岡村 登	A
4/23	月	10:30~11:50	その他の病原体 (嫌気性菌、リケッチア)	(堀内三吉)	A
4/24	火	9:00~10:20	ウイルス学総論	山岡昇司	A
4/25	水	10:30~11:50	ウイルスの複製と遺伝学	山岡昇司	A
4/27	金	10:30~11:50	RNAウイルス各論 (1)	佐久間龍太	A

5/2	水	10:30~11:50	RNAウイルス各論(2)	山岡昇司	A
5/8	火	10:30~11:50	ヒトレトロウイルス感染症	佐久間龍太	A
5/9	水	10:30~11:50	ウイルス感染症の化学療法	佐久間龍太	A
5/11	金	9:00~10:20	DNAウイルス各論(1)	斉藤愛記	A
5/18	金	9:00~10:20	DNAウイルス各論(2)	斉藤愛記	A
5/18	金	10:30~11:50	肝炎ウイルス感染症	坂本直哉	A
5/24	木	12:50~14:10	腫瘍ウイルス	山岡昇司	A
5/31	木	12:50~14:10	感染免疫とワクチン	武内寛明	A
5/31	木	14:20~15:40	感染症の検査法	東田修二	A
6/7	木	12:50~14:10	臨床総論	小池竜司	A
6/7	木	14:20~15:40	呼吸器感染症(1)	三宅修司	A
6/8	金	9:00~10:20	呼吸器感染症・抗酸菌感染症(2)	三宅修司	A
6/13	水	9:00~10:20	腸管感染症	(相楽裕子)	A
6/14	木	9:00~10:20	耳鼻咽喉科感染症	角田篤信	A
6/18	月	9:00~10:20	外科感染症(一般外科領域)	石黒めぐみ	A
6/29	金	9:00~10:20	外科感染症(皮膚/軟部組織領域)	安永能周	A
6/29	金	10:30~11:50	皮膚科領域感染症	加藤卓朗	A
7/3	火	12:50~14:10	真菌感染症と皮膚科領域感染症	吉田正己	A
7/3	火	14:20~15:40	泌尿器科領域感染症(含性感染症)	横山みなと	A
7/4	水	12:50~14:10	産婦人科領域感染症(含性感染症)	関口将軌	A
7/4	水	14:20~15:40	人畜共通感染症と新興・再興ウイルス感染症	武内寛明	A
7/5	木	9:00~10:20	小児感染症(1)	長澤正之	A
7/6	金	9:00~10:20	小児感染症(2)	長澤正之	A
7/6	金	10:30~11:50	日和見感染と不明熱	小池竜司	A
7/10	火	10:30~11:50	輸入感染症	太田伸生	A
7/11	水	9:00~10:20	院内感染症とその対策	長澤正之	A
7/11	水	10:30~11:50	高齢者の感染症	下門顕太郎	A
7/12	木	9:00~10:20	後半のまとめ(主に横断的感染症)	長澤正之	A
7/12	木	14:20~15:40	前半のまとめ(主に臓器別感染症)	小池竜司	A
7/26	木	10:30~11:50	ウイルスベクターと臨床応用	増田貴夫	A
9/3	月	10:30~11:50	ウイルスベクターと研究応用	野阪哲哉	A
9/20	木	10:30~11:50	プリオン病	山岡昇司	A

3学年前・後期 社会医学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
4/13	金	9:00~10:20	社会・環境と健康：健康の社会的決定要因	高野健人	A
4/16	月	9:00~10:20	国際寄生虫症	赤尾信明	A
4/18	水	10:30~11:50	寄生虫対策からヘルスプロモーションへ	太田伸生	A
4/23	月	9:00~10:20	NTD、顧みられない感染症	太田伸生	A
5/21	月	9:00~10:20	地球環境変化と感染症	赤尾信明	A
7/2	月	10:30~11:50	生活習慣と健康	泉山 肇	A
7/3	火	10:30~11:50	医療安全と健康危機管理政策	河原和夫	A
7/5	木	10:30~11:50	人の死の概念	上村公一	A
7/9	月	10:30~11:50	小児の精神保健医療	(上智大学 横山燕子)	A
7/12	木	10:30~11:50	死亡診断書(死体検案書)の意義・書き方	上村公一	A
7/17	火	10:30~11:50	犯罪と医学研究	(科学警察研究所 櫻田宏一)	A
7/19	木	9:00~10:20	地球環境問題	湯浅保仁	A
7/24	火	10:30~11:50	環境発がん	湯浅保仁	A
7/25	水	10:30~11:50	医療関連法規	河原和夫	A
9/4	火	10:30~11:50	地域における高齢者医療福祉	高野健人	A
9/5	水	9:00~10:20	病院機能における医療福祉	泉山 肇	A
9/20	木	9:00~10:20	児童虐待と乳幼児突然死症候群	(帝京平成大学 澤口聡子)	A

9/25	火	9:00~10:20	環境保健と環境アセスメント	中村桂子	A
10/5	金	12:50~14:10	疾病分類と衛生統計	中村桂子	A
10/9	火	14:20~15:40	健康格差	高野健人	A

3学年 前期 生理学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
4/24	火	10:30~11:50	体温調節	水島 昇	C
5/1	火	10:30~11:50	代謝生理	水島 昇	C
5/11	金	10:30~11:50	心臓（1）心臓の電氣的活動	古川哲史	C
5/14	月	10:30~11:50	心臓（2）心筋の興奮と収縮	古川哲史	C
5/15	火	10:30~11:50	消化と吸収	水島 昇	C
5/16	水	10:30~11:50	消化管運動	古川哲史	C
5/21	月	10:30~11:50	呼吸（1）	三宅修司	C
5/22	火	10:30~11:50	呼吸（2）	三宅修司	C
5/23	水	10:30~11:50	心臓（3）心電図	古川哲史	C
5/25	金	10:30~11:50	心臓（4）ポンプとしての心臓1	磯部光章	C
5/29	火	10:30~11:50	心臓（5）ポンプとしての心臓2	磯部光章	C
5/30	水	10:30~11:50	循環（1）ヘモレオロジー・血行力学	吉田雅幸	C
6/1	金	10:30~11:50	循環（2）循環の神経性調節	吉田雅幸	C
6/4	月	10:30~11:50	内分泌（1）視床下部・下垂体	水島 昇	C
6/5	火	10:30~11:50	内分泌（2）甲状腺・副甲状腺	水島 昇	C
6/6	水	10:30~11:50	内分泌（3）膵臓	水島 昇	C
6/8	金	10:30~11:50	内分泌（4）副腎	水島 昇	C
6/11	月	10:30~11:50	遺伝子組み換えマウス	水島 昇	C
6/14	木	10:30~11:50	内分泌（5）総論	水島 昇	A
6/15	金	9:00~10:20	代謝生理学特論	水島 昇	C

3学年 前期 神経科学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
5/14	月	12:50~14:10	イントロダクション、神経系の発生総論	寺田純雄	A
5/14	月	14:20~15:40	脳の概観、髄膜と血管、脳神経の観察	寺田純雄	A
5/21	月	12:50~14:10	脊髄の組織学（1）	寺田純雄	A
5/21	月	14:20~15:40	脊髄の組織学（2）	寺田純雄	A
5/28	月	12:50~14:10	脳幹・小脳分離、菱形窩〔第四脳室〕、脳幹スライス標本の観察	寺田純雄	A
6/4	月	12:50~14:10	延髄、橋の組織学	寺田純雄	A
6/4	月	14:20~15:40	中脳の組織学	寺田純雄	A
6/11	月	12:50~14:10	特別講義1／脳幹網様体・自律神経系	(大竹一嘉)	A
6/11	月	14:20~15:40	特別講義2／神経系の血流支配	(大竹一嘉)	A
6/14	木	12:50~14:10	小脳の皮質区分と小脳核、線維結合の観察	寺田純雄	A
6/18	月	12:50~14:10	小脳の組織学（1）	寺田純雄	A
6/18	月	14:20~15:40	小脳の組織学（2）	寺田純雄	A
6/21	木	12:50~14:10	大脳の半切、大脳皮質（区分）、第三脳室、視床下部の観察	寺田純雄	A
6/21	木	14:20~15:40	特別講義3／間脳の構造と機能（1）	(大竹一嘉)	A
6/28	木	12:50~14:10	島皮質、皮質における連合・交連・投射線維、視放線、内包、視床、基底核等の観察（1）	寺田純雄	A
6/28	木	14:20~15:40	島皮質、皮質における連合・交連・投射線維、視放線、内包、視床、基底核等の観察（2）	寺田純雄	A
6/29	金	12:50~14:10	特別講義4／間脳の構造と機能（2）	(大竹一嘉)	A
6/29	金	14:20~15:40	特別講義5／味覚と嗅覚	(大竹一嘉)	A
6/29	金	15:50~17:10	特別講義6／脳幹の解剖学のみと、前庭覚と聴覚	(八木沼洋行)	A
7/2	月	12:50~14:10	大脳皮質の組織学、代表的な神経伝導路のみと（1）	寺田純雄	A
7/2	月	14:20~15:40	大脳皮質の組織学、代表的な神経伝導路のみと（2）	寺田純雄	A
7/4	水	9:00~10:20	自律神経系 I I （自律神経系の生理学-1）	(武井陽介)	A
7/4	水	10:30~11:50	感覚系の生理学 ⑤前庭系 I . 前庭脊髄系と筋トーンヌス	寺田純雄	A

7/6	金	12:50~14:10	特別講義7ノ神経系の発生各論	寺田純雄	A
7/6	金	14:20~15:40	側脳室、海馬と脳弓、扁桃体、視床、基底核等の観察	寺田純雄	A
7/9	月	12:50~14:10	辺縁系と海馬の組織学	寺田純雄	A
7/9	月	14:20~15:40	視覚伝導路	寺田純雄	A
7/11	水	12:50~14:10	自律神経系Ⅲ (自律神経系の生理学-2)	(片山芳文)	A
7/11	水	14:20~15:40	感覚系の生理学 ⑤前庭系 II. 前庭眼反射	杉内友理子	A
7/13	金	9:00~10:20	大脳基底核	(片山芳文)	A
7/13	金	10:30~11:50	大脳のスライス標本の観察、まとめ	杉内友理子	A
7/13	金	12:50~14:10	運動系の中脳神経制御機構 小脳の機能 I	杉原 泉	A
7/13	金	14:20~15:40	感覚系の生理学 ①体性感覚系 III. 痛覚と視床	杉内友理子	A
7/18	水	9:00~10:20	運動系の中脳神経制御機構 小脳の機能 II	杉原 泉	A
7/18	水	10:30~11:50	シナプス IV (神経筋接合部)	田邊 勉	A
7/20	金	9:00~10:20	自律神経系IV (交感神経作動薬)	三枝弘尚	A
7/20	金	10:30~11:50	自律神経系V (副交感神経作動薬)	三枝弘尚	A
7/23	月	10:30~11:50	本能行動・脳高次機能と中枢神経薬理 中枢神経薬理	三枝弘尚	A
7/27	金	9:00~10:20	カルシウムと細胞内情報伝達系	田邊 勉	A

3学年 後期 神経科学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
9/5	水	10:30~11:50	シナプス V (分子生物学)	田邊 勉	A
9/7	金	10:30~11:50	運動系の中脳神経制御機構 眼球運動	高橋真有	A
9/19	水	9:00~10:20	本能行動・脳高次機能と中枢神経薬理 睡眠の脳波 I (睡眠の現象学)	(篠田義一)	A
9/21	金	9:00~10:20	感覚系の生理学 ② 視覚系 III. 中枢機構	伊澤佳子	A
10/1	月	9:00~10:20	運動系の中脳神経制御機構 基底核と不随意運動の病態生理	杉内友理子	A
10/3	水	9:00~10:20	本能行動・脳高次機能と中枢神経薬理 脳高次機能 (空間識、失認、前頭葉機能)	伊澤佳子	A
10/4	木	10:30~11:50	感覚系の生理学 ④ 聴覚系 II. 中枢機構	(佐藤 悠)	A
10/19	金	12:50~14:10	本能行動・脳高次機能と中枢神経薬理 辺縁系と視床下部 (本能行動)	杉原 泉	A
10/29	月	12:50~14:10	" 感覚-運動変換と失語・失行	高橋真有	A
10/30	火	12:50~14:10	" 睡眠の脳波 II (脳波と睡眠の誘発機構)	(篠田義一)	A
11/1	木	12:50~14:10	" 睡眠障害	西川 徹	A
11/14	水	10:30~11:50	" 精神神経薬理	三枝弘尚	A
11/15	木	9:00~10:20	" 随意運動の発現	(篠田義一)	A
11/28	水	10:30~11:50	" 記憶と学習	杉原 泉	A
11/29	木	10:30~11:50	イオンチャンネルとレセプター I	田邊 勉	A
11/30	金	10:30~11:50	イオンチャンネルとレセプター II	田邊 勉	A

3学年 前・後期 生殖・発達・加齢

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
7/12	木	12:50~14:10	イントロダクション	久保田俊郎	A
7/19	木	10:30~11:50	男性・女性生殖機能の生理/生殖腺、性器の発生と分化①	井上明宏	A
7/25	水	9:00~10:20	男性・女性生殖機能の生理/生殖腺、性器の発生と分化② (実習形式)	井上明宏	A
7/26	木	9:00~10:20	男性生殖の生理学/精子形成	松岡 陽	A
7/27	金	10:30~11:50	男性生殖の生理学/勃起と射精	増田 均	A
9/6	木	10:30~11:50	女性の生殖機能/①性周期とその調節機構	久保田俊郎	A
9/7	金	9:00~10:20	女性の生殖機能/②妊娠の成立	(清水康史)	A
10/4	木	9:00~10:20	妊娠の生理/①初期発生 (胚芽から胎児へ)	原田竜也	A
10/5	金	9:00~10:20	妊娠の生理/②子宮内胎児発育	鳥羽三佳代	A
10/17	水	9:00~10:20	妊娠の生理/③分娩前後の胎児・新生児	桃原祥人	A
10/18	木	9:00~10:20	妊娠の生理/④妊娠・分娩・産褥による母胎の変化	(坂本秀一)	A
10/19	金	9:00~10:20	小児の栄養	(清水俊明)	A
11/1	木	10:30~11:50	神経 II	荒木 聡	A
11/2	金	9:00~10:20	消化器	(清水俊明)	A

11/12	月	10:30~11:50	小児保健 I	土井庄三郎	A
11/20	火	10:30~11:50	内分泌 I	鹿島田健一	A
1/22	火	10:30~11:50	老化に伴う変化 I	下門顕太郎	A
1/23	水	10:30~11:50	老化に伴う変化 II	下門顕太郎	A
1/24	木	10:30~11:50	老年病実習	下門顕太郎	A
1/25	金	10:30~11:50	老年の分子生物学	下門顕太郎	A
1/29	火	9:00~10:20	小児の成長・発達／思春期発現の機序と性徴（女兒を主に）	(増田美香子)	A
1/30	金	9:00~10:20	女性の加齢	尾林 聡	A

3 学年 前・後期 衛生学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
9/28	金	9:00~10:20	序論	湯浅保仁	A
10/2	火	12:50~14:10	水質汚染	秋山好光	A
10/2	火	14:20~15:40	大気汚染	深町博史	A
10/3	水	12:50~14:10	有機溶剤中毒	(那須民江)	A
10/3	水	14:20~15:40	ヒ素の環境汚染と毒性	(平野靖士郎)	A
10/4	木	12:50~14:10	化学物質のヒトへの健康影響	(森 千里)	A
10/4	木	14:20~15:40	化学物質の環境リスク解析	(吉田喜久雄)	A
10/10	水	12:50~14:10	循環器病の疫学	(小久保喜弘)	A
10/11	木	12:50~14:10	感染症 (1)	湯浅保仁	A
10/29	月	14:20~15:40	感染症 (2)	湯浅保仁	A
10/30	火	10:30~11:50	食品・水媒介性疾病と食品衛生	(工藤泰雄)	A
10/30	火	14:20~15:40	スポーツ医学	(福林 徹)	A

3 学年 後期 循環器学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
10/11	木	14:20~15:40	循環器疾患総論／医療面接、症候論、身体所見	磯部光章	A
10/19	金	10:30~11:50	循環器疾患の病理	(田中道雄)	A
10/29	月	10:30~11:50	循環生理学／循環薬理学	足利貴志	A
11/2	金	12:50~14:10	循環器外科総論／病態生理と外科治療理論	荒井裕国	A
11/2	金	14:20~15:40	心臓カテーテル検査／電気生理学的検査	(安達 進)	A
11/12	月	9:00~10:20	画像診断／心電図	川端美穂子	A
11/13	火	10:30~11:50	画像診断／心エコー、シンチグラフィ	足利貴志	A
11/16	金	9:00~10:20	体外循環、補助循環、人工心臓、心臓移植	荒井裕国	A
11/21	水	10:30~11:50	心不全	(伊藤 宏)	A
11/26	月	10:30~11:50	虚血性心疾患 I	稲垣 裕	A
11/28	水	9:00~10:20	先天性心疾患 I (総論1)	土井庄三郎	A
12/18	火	12:50~14:10	先天性心疾患 II (総論2)	土井庄三郎	A
12/18	火	14:20~15:40	先天性心疾患 III (心エコー・カテーテル治療)	(西山光則)	A
12/19	水	9:00~10:20	不整脈 III (頻脈)	平尾見三	A
12/20	木	9:00~10:20	心臓弁膜症	吉川俊治	A
1/10	木	9:00~10:20	不整脈 I (基礎)	(古川哲史)	A
1/11	金	12:50~14:10	不整脈 II (徐脈)	蜂谷 仁	A
1/11	金	14:20~15:40	大動脈疾患	磯部光章	A
1/16	水	9:00~10:20	心筋症 I	(鈴木淳一)	A
1/17	木	9:00~10:20	心筋症 II	(鈴木淳一)	A
1/17	木	10:30~11:50	小児循環器外科治療	(広岡一信)	A
1/23	水	14:20~15:40	虚血性心疾患 II	荒井裕国	A
1/24	木	12:50~14:10	動脈疾患 I	地引政利	A
1/24	木	14:20~15:40	動脈疾患 II	井上芳徳	A
1/25	金	12:50~14:10	静脈疾患・リンパ疾患	工藤敏文	A

3学年 後期 代謝内分泌

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
10/31	水	9:00~10:20	内分泌代謝総論 1	小川	A
10/31	水	10:30~11:50	内分泌代謝総論 2	小川	A
12/17	月	14:20~15:40	脂質異常症	川村	A
1/8	火	10:30~11:50	副腎疾患	吉本	A
1/9	水	9:00~10:20	肥満とやせ	菅波	A
1/11	金	9:00~10:20	糖代謝異常 1	小川	A
1/21	月	10:30~11:50	糖代謝異常 2	三原	A
1/28	月	10:30~11:50	臨床栄養学	南	A
1/28	月	12:50~14:10	副腎疾患/PBL	吉本	A
1/29	火	12:50~14:10	甲状腺疾患	南	A
1/29	火	14:20~15:40	糖代謝異常 3	三原	A
1/30	水	12:50~14:10	多発内分泌疾患とホルモン産生腫瘍	泉山	A
1/30	水	14:20~15:40	高血圧 (含二次性高血圧)	吉本	A
1/31	木	12:50~14:10	糖代謝異常 4	三原	A
2/1	金	12:50~14:10	副甲状腺疾患	堀内	A
2/4	月	12:50~14:10	視床下部下垂体疾患	土井	A
2/4	月	14:20~15:40	視床下部下垂体疾患/PBL	土井	A
2/6	水	9:00~10:20	ホルモン受容体異常症	杉山	A

3学年 後期 医動物学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
12/17	月	12:50~14:10	総論	太田伸生	A
12/18	火	10:30~11:50	線虫病 (1) 腸管寄生線虫病	赤尾信明	A
12/21	金	12:50~14:10	" (2) フィラリア症	赤尾信明	A
1/8	火	12:50~14:10	" (3) 幼線虫移行症	赤尾信明	A
1/9	水	12:50~14:10	吸虫病 (1) 肺吸虫症・肝吸虫症	太田伸生	A
1/10	木	12:50~14:10	" (2) 住血吸虫症	熊谷 貴	A
1/22	火	9:00~10:20	条虫病 (1) 腸管寄生条虫病	太田伸生	A
1/23	水	9:00~10:20	" (2) エキノコックス症・囊虫症	赤尾信明	A
1/24	木	9:00~10:20	原虫病 (1) マラリア	太田伸生	A
1/25	金	9:00~10:20	" (2) 消化管寄生原虫病	赤尾信明	A
1/29	火	10:30~11:50	" (3) トキソプラズマ症・鞭毛虫症	太田伸生	A
1/30	水	10:30~11:50	節足動物	(篠永 哲)	A
1/31	木	10:30~11:50	有害動物	(篠永 哲)	A
2/1	金	10:30~11:50	寄生虫疾患の診断学	赤尾信明	A
2/4	月	10:30~11:50	寄生虫疾患の治療対応	太田伸生	A
2/5	火	10:30~11:50	国際保健と寄生虫対策	(小林 潤)	A

3学年 後期 医事法学

月日	曜日	授業時間	授業内容	担当教員	講義室
12/20	木	12:50~14:10	医師法、医療行為、医療事故	上村公一	A
12/20	木	14:20~15:40	刑事事件としての医療事故	東京女子医科大学医学部 奥津康祐	A
12/20	木	15:50~17:10	医療事故の予防	東京女子医科大学医学部 奥津康祐	A
1/8	火	14:20~15:40	民事事件としての医療事故	東京女子医科大学医学部 奥津康祐	A
1/9	水	14:20~15:40	死因究明制度、解剖制度、死体解剖保存法	上村公一	A
1/9	水	15:50~17:10	臨床家の立場からみた医療事故	東京海上日動メディカル サービス 長野展久	A
1/10	木	14:20~15:40	死因究明に係る法的諸問題	東京大学大学院 医学系研究科 辻村貴子	A

医学部保健衛生学科 看護学専攻

月	日	曜日	8:50~10:20 講義室	10:30~12:00 講義室	13:00~14:30 講義室	14:40~16:10 講義室	16:20~17:50 講義室	
4	5	木	解剖学Ⅱ(1) 臨床講堂	解剖学Ⅱ(2) 臨床講堂	基礎看護学Ⅱ(1) 4	基礎看護学Ⅱ(2) 4		
	6	金	地域看護学Ⅰ(1) 2 生化学(1) 臨床講堂	地域看護学Ⅰ(2) 2 保健統計学(1) 情報検査室	地域精神看護学(1) 2 緩和ケア看護学(1) 1	緩和ケア看護学(2) 1	生化学(2) 臨床講堂	
	9	月		産業保健学(1) 4	地域看護学Ⅲ(1) 4	微生物学(1) 臨床講堂	病態学(1) 1	
	11	水		病理学(1) 臨床講堂		病態学(2) 4	病態学(3) 4	
	12	木			解剖学Ⅱ(3) 臨床講堂			
	13	金	地域看護学Ⅰ(3) 2 生化学(4) 臨床講堂	地域看護学Ⅰ(4) 2 保健統計学(2) 情報検査室	地域精神看護学(2) 2 緩和ケア看護学(3) 1	緩和ケア看護学(4) 1		
	16	月		解剖学Ⅱ(4) 臨床講堂 産業保健学(2) 4	生化学(5) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(3) 4	微生物学(2) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(4) 4	病態学(4) 1	
	17	火		解剖学Ⅱ(5) 臨床講堂		基礎看護学Ⅰ(1) 14:30~16:00 4	基礎看護学Ⅰ(2) 4	
	18	水		病理学(2) 臨床講堂				
	19	木		解剖学Ⅱ(6) 臨床講堂	基礎看護学Ⅱ(3) 4	基礎看護学Ⅱ(4) 4		
	20	金	地域看護学Ⅰ(5) 2 生化学(6) 臨床講堂	地域看護学Ⅰ(6) 2	地域精神看護学(3) 2 基礎看護学Ⅱ(5) 4			
	23	月		保健統計学(3) 情報検査室 生化学(7) 臨床講堂	緩和ケア看護学(5) 1 生化学(8) 臨床講堂	緩和ケア看護学(6) 1 微生物学(3) 臨床講堂	病態学(5) 1	
	24	火		産業保健学(3) 4	地域看護学Ⅲ(5) 4	地域看護学Ⅲ(6) 4		
	25	水		解剖学Ⅱ(7) 臨床講堂	基礎看護学Ⅰ(3) 12:50~14:20 4	基礎看護学Ⅰ(4) 14:30~16:00 4		
	26	木		病理学(3) 臨床講堂		病態学(6) 4	病態学(7) 4	
	27	金	地域看護学Ⅰ(7) 2	地域看護学Ⅰ(8) 2	地域精神看護学(4) 2 基礎看護学Ⅱ(6) 4	基礎看護学Ⅱ(7) 4		
				保健統計学(4) 情報検査室	緩和ケア看護学(7) 1	緩和ケア看護学(8) 1		
	5	1	火			基礎看護学Ⅰ(5) 12:50~14:20 4	基礎看護学Ⅰ(6) 14:30~16:00 4	
		2	水		病理学(4) 臨床講堂			
		7	月		生化学(9) 臨床講堂 産業保健学(4) 4	生化学(10) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(7) 4	微生物学(4) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(8) 4	病態学(8) 1
		8	火			基礎看護学Ⅰ(7) 12:50~14:20 4	基礎看護学Ⅰ(8) 14:30~16:00 4	
		9	水		病理学(5) 臨床講堂			
		11	金	地域看護学Ⅱ(1) 2 保健統計学(5) 情報検査室	地域看護学Ⅱ(2) 2	地域精神看護学(5) 2		
		14	月		産業保健学(5) 4	生化学(11) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(9) 4	微生物学(5) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(10) 4	病態学(9) 1
		16	水		病理学(6) 臨床講堂			
		18	金	地域看護学Ⅱ(3) 2 生化学(12) 臨床講堂	地域看護学Ⅱ(4) 2 保健統計学(6) 情報検査室	地域精神看護学(6) 2 基礎看護学Ⅱ(8) 4		
		21	月		産業保健学(6) 4	生化学(13) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(11) 4	微生物学(6) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(12) 4	病態学(10) 1
23		水		病理学(7) 臨床講堂				
25		金	地域看護学Ⅱ(5) 2 生化学(14) 臨床講堂	地域看護学Ⅱ(6) 2	地域精神看護学(7) 2 基礎看護学Ⅱ(9) 4	基礎看護学Ⅱ(10) 4		
					保健統計学(7) 情報検査室			
28		月		産業保健学(7) 4	生化学(15) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(13) 4	微生物学(7) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(14) 4	病態学(11) 1	
30		水		病理学(8) 臨床講堂		病態学(12) 4	病態学(13) 4	
6	1	金	地域看護学Ⅱ(7) 2 保健統計学(8) 情報検査室	地域看護学Ⅱ(8) 2	地域精神看護学(8) 2 小児看護学Ⅰ(1) 4	小児看護学Ⅰ(2) 4		
	4	月		産業保健学(8) 4	地域看護学Ⅲ(15) 4	微生物学(8) 臨床講堂 地域看護学Ⅲ(16) 4	病態学(14) 1	
	6	水				病態学(15) 4		
	8	金	在宅看護学Ⅱ(1) 2	在宅看護学Ⅱ(2) 2	小児看護学Ⅰ(3) 4	小児看護学Ⅰ(4) 4	小児看護学Ⅰ(5) 4	
	11	月			病態学(16) 4	病態学(17) 4	病態学(18) 4	
	13	水				病態学(19) 4		
	15	金	在宅看護学Ⅱ(3) 2	在宅看護学Ⅱ(4) 2	基礎看護学Ⅱ(11) 4 小児看護学Ⅰ(6) 4	小児看護学Ⅰ(7) 4	小児看護学Ⅰ(8) 4	

医学部保健衛生学科 看護学専攻

	18	月			病態学(20)	4	病態学(21)	4	病態学(22)	4		
	21	木			基礎看護学Ⅱ(12)	4	基礎看護学Ⅱ(13)	4				
	22	金	在宅看護学Ⅱ(5)	2	在宅看護学Ⅱ(6)	2	小児看護学Ⅰ(9)	4	小児看護学Ⅰ(10)	4		
	25	月			病態学(23)	4	病態学(24)	4	病態学(25)	4		
	29	金	在宅看護学Ⅱ(7)	2	在宅看護学Ⅱ(8)	2						
7	2	月			病態学(26)	4	病態学(27)	4	病態学(28)	4		
	9	月			病態学(29)	4	病態学(30)	4				
10	1	月			病態学(31)	4	病態学(32)	4	病態学(33)	4		
	2	火		栄養学(1)	4	解剖学Ⅰ(1) 12:50~14:20	臨床講堂	解剖学Ⅰ(2) 14:30~16:00	臨床講堂	看護心理学(1)	2	
	3	水			保健医療福祉制度論(1)	4						
	4	木		在宅看護学Ⅰ(1)	4	精神看護学(1)	4	精神看護学(2)	4			
	9	火			解剖学Ⅰ(3) 12:50~14:20	臨床講堂	解剖学Ⅰ(4) 14:30~16:00	臨床講堂	看護心理学(2)	2		
	15	月			病態学(34)	4	病態学(35)	4				
	16	火	栄養学(2)	4	解剖学Ⅰ(5) 12:50~14:20	臨床講堂	解剖学Ⅰ(6) 14:30~16:00	臨床講堂	看護心理学(3)	2		
	17	水			保健医療福祉制度論(2)	4	保健医療福祉制度論(3)	4				
	22	月			病態学(36)	4	病態学(37)	4				
	23	火	栄養学(3)	4	解剖学Ⅰ(7) 12:50~14:20	臨床講堂	解剖学Ⅰ(8) 14:30~16:00	臨床講堂	看護心理学(4)	2		
	24	水	薬理学Ⅰ(1)	臨床講堂	薬理学Ⅰ(2)	臨床講堂	保健医療福祉制度論(4)	4	保健医療福祉制度論(5)	4		
	25	木			在宅看護学Ⅰ(2)	4						
	29	月			病態学(38)	4	病態学(39)	4				
30	火	栄養学(4)	4	解剖学Ⅰ(9) 12:50~14:20	臨床講堂	解剖学Ⅰ(10) 14:30~16:00	臨床講堂	看護心理学(5)	2			
31	水	薬理学Ⅰ(3)	臨床講堂	薬理学Ⅰ(4)	臨床講堂	保健医療福祉制度論(6)	4	保健医療福祉制度論(7)	4			
11	1	木		在宅看護学Ⅰ(3)	4							
	5	月			病態学(40)	4	病態学(41)	4				
	6	火	栄養学(5)	4	解剖学Ⅰ(11) 12:50~14:20	臨床講堂	解剖学Ⅰ(12) 14:30~16:00	臨床講堂	看護心理学(6)	2		
	7	水	薬理学Ⅰ(5)	臨床講堂	薬理学Ⅰ(6)	臨床講堂	保健医療福祉制度論(8)	4	保健医療福祉制度論(9)	4		
	8	木			在宅看護学Ⅰ(4)	4						
	12	月			病態学(42)	4	病態学(43)	4				
	13	火	栄養学(6)	4	栄養学(7)	4	解剖学Ⅰ(13) 12:50~14:20	臨床講堂	解剖学Ⅰ(14) 14:30~16:00	臨床講堂	看護心理学(7)	2
	14	水	薬理学Ⅰ(7)	臨床講堂	薬理学Ⅰ(8)	臨床講堂	保健医療福祉制度論(10)	4	保健医療福祉制度論(11)	4		
	15	木			在宅看護学Ⅰ(5)	4	精神看護学(3)	4	精神看護学(4)	4		
	19	月			病態学(44)	4	病態学(45)	4				
	20	火			解剖学Ⅰ(15) 12:50~14:20	臨床講堂	解剖学Ⅰ(16) 14:30~16:00	臨床講堂	看護心理学(8)	2		
	21	水			保健医療福祉制度論(12)	4	保健医療福祉制度論(13)	4				
	22	木			在宅看護学Ⅰ(6)	4	精神看護学(5)	4	精神看護学(6)	4		
26	月			病態学(46)	4	病態学(47)	4	病態学(48)	4			
27	火	栄養学(8)	4	看護の統合と実践Ⅰ(1) 12:50~14:20	2	看護の統合と実践Ⅰ(2) 14:30~16:00	2					
28	水	薬理学Ⅱ(1)	臨床講堂	薬理学Ⅱ(2)	臨床講堂	保健医療福祉制度論(14)	4	保健医療福祉制度論(15)	4			
29	木	在宅看護学Ⅰ(7)	4	在宅看護学Ⅰ(8)	4	精神看護学(7)	4	精神看護学(8)	4			
12	3	月			病態学(49)	4	病態学(50)	4	病態学(51)	4		
	4	火			看護の統合と実践Ⅰ(3) 12:50~14:20	2	看護の統合と実践Ⅰ(4) 14:30~16:00	2				
	5	水	薬理学Ⅱ(3)	臨床講堂	薬理学Ⅱ(4)	臨床講堂						
	6	木			精神看護学(9)	4	精神看護学(10)	4				
	11	火			看護の統合と実践Ⅰ(5) 12:50~14:20	2	看護の統合と実践Ⅰ(6) 14:30~16:00	2				
	13	木			精神看護学(11)	4	精神看護学(12)	4				
	18	火			看護の統合と実践Ⅰ(7) 12:50~14:20	2	看護の統合と実践Ⅰ(8) 14:30~16:00	2				
20	木			精神看護学(13)	4	精神看護学(14)	4					
1	8	火			看護の統合と実践Ⅰ(9) 12:50~14:20	2	看護の統合と実践Ⅰ(10) 14:30~16:00	2				
	9	水	薬理学Ⅱ(5)	臨床講堂	薬理学Ⅱ(6)	臨床講堂						
	10	木			精神看護学(15)	4	精神看護学(16)	4				
	15	火			看護の統合と実践Ⅰ(11) 12:50~14:20	2	看護の統合と実践Ⅰ(12) 14:30~16:00	2				
	16	水	薬理学Ⅱ(7)	臨床講堂	薬理学Ⅱ(8)	臨床講堂						
	22	火			看護の統合と実践Ⅰ(13) 12:50~14:20	2	看護の統合と実践Ⅰ(14) 14:30~16:00	2				
	29	火			看護の統合と実践Ⅰ(15) 12:50~14:20	2	看護の統合と実践Ⅰ(16) 14:30~16:00	2				

医学部保健衛生学科 検査技術学専攻

月	日	曜日	8:50~10:20 講義室	10:30~12:00 講義室	13:00~14:30 講義室	14:40~16:10 講義室	16:20~17:50 講義室
4	5	木	人体構造学講義Ⅱ(1) 臨床講堂 健康食品総論(1) 3	人体構造学講義Ⅱ(2) 臨床講堂			
	9	月			生化学講義(3) 臨床講堂	病原体検査学講義Ⅰ(1) 臨床講堂	
	10	火	健康食品総論(2) 3				
	11	水		病理検査学講義(1) 臨床講堂		公衆衛生学講義(1) 5	公衆衛生学講義(2) 5
	11	水		血液検査学講義(1) 3			
	12	木		人体構造学講義Ⅱ(3) 臨床講堂			
	13	金		医療概論・関係法規(2) 5	医用システム情報学講義Ⅰ(3) 5		
	16	月	生化学講義(4) 臨床講堂 健康食品総論(3) 3	人体構造学講義Ⅱ(4) 臨床講堂 先端医療技術論(1) 5	生化学講義(5) 臨床講堂	病原体検査学講義Ⅰ(2) 臨床講堂	
	17	火		人体構造学講義Ⅱ(5) 臨床講堂	遺伝子・染色体検査学講義(1) 5		
	18	水		病理検査学講義(2) 臨床講堂 血液検査学講義(2) 3		公衆衛生学講義(3) 5	公衆衛生学講義(4) 5
	19	木		人体構造学講義Ⅱ(6) 臨床講堂			
	20	金	生化学講義(6) 臨床講堂	医療概論・関係法規(3) 5	医用システム情報学講義Ⅰ(4) 5		
	23	月		生化学講義(7) 臨床講堂	生化学講義(8) 臨床講堂	病原体検査学講義Ⅰ(3) 臨床講堂	
	24	火	健康食品総論(4) 3	人体構造学講義Ⅱ(7) 臨床講堂	遺伝子・染色体検査学講義(2) 5		
25	水		病理検査学講義(3) 臨床講堂 血液検査学講義(3) 3		公衆衛生学講義(5) 5	公衆衛生学講義(6) 5	
26	木		人体構造学講義Ⅱ(8) 臨床講堂				
27	金		医療概論・関係法規(4) 5	医用システム情報学講義Ⅰ(5) 5			
5	1	火	健康食品総論(5) 3		遺伝子・染色体検査学講義(3) 5		
	2	水		病理検査学講義(4) 臨床講堂 血液検査学講義(4) 3		公衆衛生学講義(7) 5	公衆衛生学講義(8) 5
	7	月		生化学講義(9) 臨床講堂	生化学講義(10) 臨床講堂	病原体検査学講義Ⅰ(4) 臨床講堂	
	8	火	健康食品総論(6) 3		遺伝子・染色体検査学講義(4) 5 医用システム情報学講義Ⅱ(1) 3		
	9	水		病理検査学講義(5) 臨床講堂 血液検査学講義(6) 3		公衆衛生学講義(9) 5	公衆衛生学講義(10) 5
	11	金		医療概論・関係法規(5) 5	医用システム情報学講義Ⅰ(6) 5		
	14	月			生化学講義(11) 臨床講堂	病原体検査学講義Ⅰ(5) 臨床講堂	
	15	火	健康食品総論(7) 3	病院見学先端医療技術論(2)	遺伝子・染色体検査学講義(5) 5 医用システム情報学講義Ⅱ(2) 3		
	16	水		病理検査学講義(6) 臨床講堂 血液検査学講義(7) 3		公衆衛生学講義(11) 5	公衆衛生学講義(12) 5
	18	金	生化学講義(12) 臨床講堂	医療概論・関係法規(6) 5	医用システム情報学講義Ⅰ(7) 5		
	21	月			生化学講義(13) 臨床講堂	病原体検査学講義Ⅰ(6) 臨床講堂	
	22	火	健康食品総論(8) 3		遺伝子・染色体検査学講義(6) 5 医用システム情報学講義Ⅱ(3) 3		
	23	水		病理検査学講義(7) 臨床講堂 血液検査学講義(8) 3		公衆衛生学講義(13) 5	公衆衛生学講義(14) 5
	25	金	生化学講義(14) 臨床講堂	医療概論・関係法規(7) 5	医用システム情報学講義Ⅰ(8) 5		
28	月			生化学講義(15) 臨床講堂	病原体検査学講義Ⅰ(7) 臨床講堂		
29	火	健康食品総論(9) 3		遺伝子・染色体検査学講義(7) 5 医用システム情報学講義Ⅱ(4) 3			
30	水		病理検査学講義(8) 臨床講堂 血液検査学講義(9) 3		公衆衛生学講義(15) 5	公衆衛生学講義(16) 5	
6	1	金		医療概論・関係法規(8) 5	医用システム情報学講義Ⅰ(9) 5		
	4	月		臨床病態学Ⅰ(1) 5	臨床病態学Ⅰ(2) 5	病原体検査学講義Ⅰ(8) 臨床講堂	
	5	火	健康食品総論(10) 3		遺伝子・染色体検査学講義(8) 5 医用システム情報学講義Ⅱ(5) 3		
	6	水		病理検査学講義(10) 5 血液検査学講義(10) 3			
	7	木		病理検査学講義(11) 5			
	8	金		医療概論・関係法規(9) 5	医用システム情報学講義Ⅰ(10) 5		
	11	月		臨床病態学Ⅰ(3) 5	臨床病態学Ⅰ(4) 5	臨床病態学Ⅰ(5) 5	

医学部保健衛生学科 検査技術学専攻

6	12	火		分析化学検査学講義 I (1)	5	遺伝子・染色体検査学講義(9)	5			
			健康食品総論(11)	3		医用システム情報学講義 II(6)	3			
	13	水		病理検査学講義(12)	5	病理検査学講義(13)	5			
						血液検査学講義(11)	3			
	14	木			病理検査学講義(14)	5				
					医療概論・関係法規(10)	5	医用システム情報学講義 I (11)	5		
	18	月			臨床病態学 I (6)	5	臨床病態学 I (7)	5	臨床病態学 I (8)	5
				分析化学検査学講義 I (2)	5	遺伝子・染色体検査学講義(10)	5	遺伝子・染色体検査学講義(11)	5	
	19	火		健康食品総論(12)	3		医用システム情報学講義 II(7)	3	医用システム情報学講義 II(8)	3
				病理検査学講義(15)	5	病理検査学講義(16)	5			
	20	水				血液検査学講義(12)	3			
					病理検査学講義(17)	5				
	21	木								
					医用システム情報学講義 I (12)	5	医用システム情報学講義 I (13)	5		
	22	金								
					臨床病態学 I (9)	5	臨床病態学 I (10)	5	臨床病態学 I (11)	5
	25	月								
				分析化学検査学講義 I (3)	5	遺伝子・染色体検査学講義(12)	5	遺伝子・染色体検査学講義(13)	5	
	26	火		健康食品総論(13)	3					
				病理検査学講義(18)	5	病理検査学講義(19)	5			
	27	水				血液検査学講義(13)	3			
	29	金			医用システム情報学講義 I (14)	5	医用システム情報学講義 I (15)	5		
	7	2	月				臨床病態学 I (12)	5	臨床病態学 I (13)	5
					分析化学検査学講義 I (4)	5	遺伝子・染色体検査学講義(14)	5	遺伝子・染色体検査学講義(15)	5
		3	火		健康食品総論(14)	3				
					病理検査学講義(20)	5	病理検査学講義(21)	5		
		4	水							
					医用システム情報学講義 I (16)	5				
6		金								
						臨床病態学 I (14)	5	臨床病態学 I (15)	5	
9	月									
			分析化学検査学講義 I (5)	5						
10	火		健康食品総論(15)	3						
			病理検査学講義(22)	5	病理検査学講義(23)	5				
11	水				血液検査学講義(14)	3	血液検査学講義(15)	3		
9	18	火		分析化学検査学講義 I (6)	5	生化学講義(16)	5			
				病理検査学講義(24)	5					
	24	月								
					生化学講義(17)	5				
25	火									
			分析化学検査学講義 I (7)	5	分析化学検査学講義 I (8)	5				
10	1	月		病理検査学講義(25)	5					
				先端医療技術論(3)	5	生化学講義(18)	5	人体構造学講義 I (1) 臨床講堂 12:50~14:20	人体構造学講義 I (2) 臨床講堂 14:30~16:00	
	5	金		分析化学検査学講義 I (9)	5	分析化学検査学講義 I (10)	5			
				先端医療技術論(4)	5			人体構造学講義 I (3) 臨床講堂 12:50~14:20	人体構造学講義 I (4) 臨床講堂 14:30~16:00	
	16	火		先端医療技術論(5)	5	生化学講義(19)	5	人体構造学講義 I (5) 臨床講堂 12:50~14:20	人体構造学講義 I (6) 臨床講堂 14:30~16:00	
				分析化学検査学講義 I (11)	5	分析化学検査学講義 I (12)	5			
	23	火		先端医療技術論(6)	5	生化学講義(20)	5	人体構造学講義 I (7) 臨床講堂 12:50~14:20	人体構造学講義 I (8) 臨床講堂 14:30~16:00	
				分析化学検査学講義 I (13)	5	分析化学検査学講義 I (14)	5			
30	火		先端医療技術論(7)	5	生化学講義(21)	5	人体構造学講義 I (9) 臨床講堂 12:50~14:20	人体構造学講義 I (10) 臨床講堂 14:30~16:00		
11	2	金		分析化学検査学講義 I (15)	5	分析化学検査学講義 I (16)	5			
				病理検査学講義(26)	5					
	5	月								
				先端医療技術論(8)	5	生化学講義(22)	5	人体構造学講義 I (11) 臨床講堂 12:50~14:20	人体構造学講義 I (12) 臨床講堂 14:30~16:00	
	12	月								
				病理検査学講義(27)	5					
	13	火		先端医療技術論(9)	5			人体構造学講義 I (13) 臨床講堂 12:50~14:20	人体構造学講義 I (14) 臨床講堂 14:30~16:00	
				病理検査学講義(28)	5					
19	月									
				分析化学検査学講義 I (17)	5	人体構造学講義 I (15) 臨床講堂 12:50~14:20	人体構造学講義 I (16) 臨床講堂 14:30~16:00			
20	火									
			病理検査学講義(29)	5						
26	月									
				分析化学検査学講義 I (18)	5					
12	3	月		病理検査学講義(30)	5					
	4	火				分析化学検査学講義 I (19)	5			
						分析化学検査学講義 I (20)	5			
11	火									
					分析化学検査学講義 I (21)	5				
1	8	火								
						分析化学検査学講義 I (22)	5			
						分析化学検査学講義 I (23)	5			
22	火									
					分析化学検査学講義 I (24)	5				

歯学部(歯学科、口腔保健学科)

1総合生命科学コース

歯学科:病理学・口腔病理学(口腔領域の病理) 開講日

1	平成 24 年	12 月 7 日	金	13:00	~	15:50	4・5・6
2	平成 24 年	12 月 10 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
3	平成 25 年	1 月 8 日	日	13:00	~	15:50	4・5・6
4	平成 25 年	1 月 9 日	月	13:00	~	15:50	4・5・6
5	平成 25 年	1 月 15 日	日	9:00	~	11:50	1・2・3
6	平成 25 年	1 月 21 日	土	13:00	~	15:50	4・5・6
7	平成 25 年	1 月 22 日	日	13:00	~	15:50	4・5・6
8	平成 25 年	1 月 29 日	日	9:00	~	11:50	1・2・3
9	平成 25 年	2 月 6 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
10	平成 25 年	2 月 12 日	日	9:00	~	11:50	1・2・3
11	平成 25 年	3 月 1 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3

歯学科:薬理学・歯科薬理学(感染の予防および治療薬) 開講日

1	平成 24 年	5 月 16 日	水	9:00	~	11:50	1・2・3
2	平成 24 年	5 月 23 日	水	9:00	~	14:50	1・2・3・4・5
3	平成 24 年	5 月 28 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
4	平成 24 年	5 月 30 日	水	9:00	~	11:50	1・2・3
5	平成 24 年	6 月 6 日	水	9:00	~	11:50	1・2・3
6	平成 24 年	6 月 12 日	火	11:00	~	11:50	3

歯学科:咀嚼と嚥下のバイオロジー・骨のバイオロジー 開講日

1	平成 24 年	10 月 25 日	木	11:00	~	11:50	3
2	平成 24 年	11 月 1 日	木	11:00	~	11:50	3
3	平成 24 年	11 月 8 日	木	11:00	~	11:50	3
4	平成 24 年	11 月 21 日	水	10:00	~	11:50	2・3
5	平成 24 年	11 月 29 日	木	11:00	~	11:50	3
6	平成 24 年	12 月 6 日	木	11:00	~	11:50	3
7	平成 24 年	12 月 13 日	木	11:00	~	11:50	3
8	平成 25 年	1 月 7 日	月	11:00	~	11:50	3
9	平成 25 年	1 月 10 日	木	11:00	~	11:50	3
10	平成 25 年	1 月 17 日	木	11:00	~	11:50	3
11	平成 25 年	1 月 24 日	木	11:00	~	11:50	3
12	平成 25 年	1 月 31 日	木	11:00	~	11:50	3
13	平成 25 年	2 月 7 日	木	11:00	~	11:50	3
14	平成 25 年	2 月 14 日	木	13:00	~	13:50	4

歯学科:ことばの世界・オクルージョン・歯科と色 開講日

1	平成 25 年	1 月 10 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3
2	平成 25 年	1 月 17 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3
3	平成 25 年	1 月 24 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3
4	平成 25 年	1 月 31 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3
5	平成 25 年	2 月 7 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3
6	平成 25 年	2 月 14 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3
7	平成 25 年	2 月 21 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3

2海外協力コース

歯学科:医学英語入門 開講日

1	平成 24 年	4 月 12 日	木	15:00	~	15:50	6
2	平成 24 年	4 月 19 日	木	15:00	~	15:50	6
3	平成 24 年	4 月 26 日	木	15:00	~	15:50	6
4	平成 24 年	5 月 10 日	木	15:00	~	15:50	6
5	平成 24 年	5 月 17 日	木	15:00	~	15:50	6
6	平成 24 年	5 月 24 日	木	15:00	~	15:50	6
7	平成 24 年	5 月 31 日	木	15:00	~	15:50	6
8	平成 24 年	6 月 14 日	木	15:00	~	15:50	6
9	平成 24 年	6 月 21 日	木	15:00	~	15:50	6
10	平成 24 年	6 月 28 日	木	15:00	~	15:50	6

歯学科:感染と免疫概論 開講日

1	平成 24 年	11 月 20 日	火	13:00	~	15:50	4・5・6
2	平成 24 年	11 月 27 日	火	9:00	~	11:50	1・2・3
3	平成 24 年	12 月 4 日	火	9:00	~	11:50	1・2・3
4	平成 24 年	12 月 11 日	火	10:00	~	11:50	2・3
5	平成 24 年	12 月 17 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
6	平成 24 年	12 月 21 日	金	9:00	~	9:50	1

3生活空間研究コース

歯学科:環境・社会1・2 開講日

1	平成 24 年	5 月 9 日	水	9:00	~	11:50	1・2・3
2	平成 24 年	5 月 16 日	水	9:00	~	11:50	1・2・3
3	平成 24 年	6 月 4 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
4	平成 24 年	6 月 6 日	水	13:00	~	15:50	4・5・6
5	平成 24 年	6 月 11 日	月	9:00	~	9:50	1
6	平成 24 年	7 月 4 日	水	9:00	~	11:50	1・2・3
7	平成 24 年	7 月 10 日	火	9:00	~	11:50	1・2・3
8	平成 24 年	7 月 25 日	水	13:00	~	15:50	4・5・6
9	平成 24 年	7 月 31 日	火	13:00	~	13:50	4

4医用工学コース

歯学科:生体材料の科学 開講日

1	平成 25 年	1 月 7 日	月	13:00	~	15:50	4・5・6
2	平成 25 年	1 月 10 日	木	13:00	~	15:50	4・5・6
3	平成 25 年	1 月 15 日	火	13:00	~	15:50	4・5・6
4	平成 25 年	1 月 16 日	水	9:00	~	11:50	1・2・3
				13:00	~	15:50	4・5・6
5	平成 25 年	2 月 4 日	月	9:00	~	9:50	1

歯学科:歯科生体材料の性質 開講日

1	平成 25 年	1 月 23 日	水	13:00	~	15:50	4・5・6
2	平成 25 年	1 月 24 日	木	13:00	~	15:50	4・5・6
3	平成 25 年	1 月 25 日	金	13:00	~	15:50	4・5・6
4	平成 25 年	1 月 28 日	月	13:00	~	15:50	4・5・6
5	平成 25 年	1 月 29 日	火	13:00	~	15:50	4・5・6
6	平成 25 年	1 月 30 日	水	13:00	~	15:50	4・5・6
7	平成 25 年	1 月 31 日	木	13:00	~	15:50	4・5・6
8	平成 25 年	2 月 4 日	月	9:00	~	9:50	1

5医療・介護・経済コース

歯学科:小児の成長発育と咬合育成 開講日

1	平成 24 年	10 月 5 日	金	9:00	~	11:50	1・2・3
2	平成 24 年	10 月 15 日	月	13:00	~	15:50	4・5・6
3	平成 24 年	10 月 16 日	火	9:00	~	11:50	1・2・3
4	平成 24 年	10 月 17 日	水	13:00	~	15:50	4・5・6
5	平成 24 年	11 月 12 日	月	13:00	~	15:50	4・5・6
6	平成 24 年	11 月 15 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3
7	平成 24 年	11 月 19 日	月	13:00	~	15:50	4・5・6
8	平成 24 年	11 月 22 日	木	9:00	~	11:50	1・2・3
9	平成 24 年	11 月 30 日	金	13:00	~	15:50	4・5・6

歯学科:歯科医療と救急医療 開講日

1	平成 24 年	6 月 14 日	木	11:00	~	11:50	3
				13:00	~	14:50	4・5
2	平成 24 年	6 月 25 日	月	11:00	~	11:50	3
				13:00	~	13:50	4
3	平成 24 年	7 月 2 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
				13:00	~	15:50	4・5・6
4	平成 24 年	7 月 9 日	月	13:00	~	13:50	4

口腔保健学科:顎口腔機能訓練法 開講日

1	平成 24 年	6 月 4 日	月	10:00	~	11:50	2・3
2	平成 24 年	6 月 11 日	月	10:00	~	11:50	2・3
3	平成 24 年	6 月 18 日	月	10:00	~	11:50	2・3
4	平成 24 年	6 月 25 日	月	10:00	~	11:50	2・3
5	平成 24 年	7 月 2 日	月	10:00	~	11:50	2・3
6	平成 24 年	7 月 23 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
7	平成 24 年	7 月 30 日	月	10:00	~	11:50	2・3

口腔保健学科:顎口腔機能リハビリテーション 開講日

1	平成 24 年	10 月 15 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
2	平成 24 年	10 月 22 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
3	平成 24 年	10 月 29 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
4	平成 24 年	11 月 5 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3
5	平成 24 年	11 月 12 日	月	9:00	~	11:50	1・2・3

口腔保健学科:ヘルスケアカウンセリング論 開講日

1	平成 24 年	5 月 15 日	火	10:00	~	11:50	2・3
2	平成 24 年	5 月 22 日	火	10:00	~	11:50	2・3
3	平成 24 年	5 月 29 日	火	10:00	~	11:50	2・3
4	平成 24 年	6 月 5 日	火	10:00	~	11:50	2・3
5	平成 24 年	6 月 12 日	火	10:00	~	11:50	2・3
6	平成 24 年	6 月 19 日	火	10:00	~	11:50	2・3
7	平成 24 年	6 月 26 日	火	10:00	~	11:50	2・3
8	平成 24 年	7 月 3 日	火	11:00	~	11:50	3

医歯理工学専攻修士課程

講義日			1時限	2時限	3時限	1時限 (MMA)	2時限 (MMA)
月	曜日	曜日	08:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	18:00~19:30	19:40~21:10
4	11	水	医歯学総合概論1	人体/口腔形態学1			
	12	木	医歯学総合概論2	人体/口腔形態学2			
	13	金	医歯学総合概論3	人体/口腔形態学3			
	16	月				医療提供政策論	医療提供政策論
	17	火					
	18	水				医療提供政策論	医療提供政策論
	19	木				医療提供政策論	医療提供政策論
	20	金				医療提供政策論	医療提供政策論
	23	月	医歯学総合概論4	人体/口腔形態学4			
	24	火	医歯学総合概論5		人体/口腔形態学5 14:40~16:10		
	25	水	医歯学総合概論6	人体/口腔形態学6			
	26	木	医歯学総合概論7	人体/口腔形態学7			
	27	金	医歯学総合概論8	人体/口腔形態学8			
5	7	月	医歯学総合概論9	病理病態学1			
	8	火	医歯学総合概論10	病理病態学2			
	9	水	医歯学総合概論11	バイオインフォマティクス1	生化学1		
	10	木	医歯学総合概論12	病理病態学3 生体材料学1	生化学2		
	11	金	医歯学総合概論13	病理病態学4	生化学3		
	14	月	医歯学総合概論14	病理病態学5	生化学4		
	15	火	医歯学総合概論15	病理病態学6	生化学5		
	16	水	バイオインフォマティクス2	バイオインフォマティクス3	生化学6		
	17	木	人体機能学1 生体材料学2	病理病態学7 生体材料学3	生化学7		
	18	金	人体機能学2	病理病態学8	生化学8		
	21	月	人体機能学3	環境社会医歯学1	生化学9	医療計画制度	医療計画制度
	22	火	人体機能学4	環境社会医歯学2	生化学10		
	23	水	バイオインフォマティクス4	バイオインフォマティクス5	生化学11	医療計画制度	医療計画制度
	24	木	人体機能学5 生体材料学4	環境社会医歯学3 生体材料学5	生化学12	医療計画制度	医療計画制度
	25	金	人体機能学6	環境社会医歯学4	生化学13	医療計画制度	医療計画制度
	28	月	人体機能学7	環境社会医歯学5	生化学14		
	29	火	人体機能学8	環境社会医歯学6	生化学15		
30	水	バイオインフォマティクス6	バイオインフォマティクス7	薬理学1			
31	木	遺伝医学特論1 生体材料学6	環境社会医歯学7 生体材料学7	薬理学2			
6	1	金	遺伝医学特論2	環境社会医歯学8	薬理学3		
	4	月	遺伝医学特論3	遺伝医学特論4	薬理学4	医療機関リスク管理	医療機関リスク管理
	5	火	遺伝医学特論5	遺伝医学特論6	薬理学5		
	6	水	バイオインフォマティクス8	バイオインフォマティクス9	薬理学6	医療機関リスク管理	医療機関リスク管理
	7	木	遺伝医学特論7 生体材料学8	遺伝医学特論8 生体材料学9	薬理学7	医療機関リスク管理	医療機関リスク管理
	8	金	遺伝医学特論9	遺伝医学特論10	薬理学8	医療機関リスク管理	医療機関リスク管理
	11	月	遺伝医学特論11	遺伝医学特論12	薬理学9		

医歯理工学専攻修士課程

講義日			1時限	2時限	3時限	1時限 (MMA)	2時限 (MMA)
月	曜日	曜日	08:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	18:00~19:30	19:40~21:10
6	12	火	遺伝医学特論13	遺伝医学特論14	薬理学10		
	13	水	バイオインフォマティクス10	バイオインフォマティクス11	薬理学11		
	14	木	遺伝医学特論15 生体材料学10	神経疾患特論1 生体材料学11	薬理学12		
	15	金	神経疾患特論2	神経疾患特論3	薬理学13		
	18	月	神経疾患特論4	神経疾患特論5	薬理学14	医療機能評価	医療機能評価
	19	火	神経疾患特論6	神経疾患特論7	薬理学15	医療機能評価	医療機能評価
	20	水	バイオインフォマティクス12	バイオインフォマティクス13	バイオメディカル工学1	医療機能評価	医療機能評価
	21	木	神経疾患特論8 生体材料学12	神経疾患特論9 生体材料学13	バイオメディカル工学2	医療機能評価	医療機能評価
	22	金	神経疾患特論10	神経疾患特論11	バイオメディカル工学3		
	25	月	神経疾患特論12	神経疾患特論13	バイオメディカル工学4		
	26	火	神経疾患特論14	神経疾患特論15	バイオメディカル工学5		
	27	水	バイオインフォマティクス14	バイオインフォマティクス15	バイオメディカル工学6		
	28	木	生体材料学14	生体材料学15	バイオメディカル工学7		
	29	金			バイオメディカル工学8		
7	9	月				病院情報管理学	病院情報管理学
	10	火				病院情報管理学	病院情報管理学
	11	水				病院情報管理学	病院情報管理学
	12	木				病院情報管理学	病院情報管理学
	13	金					
10	1	月	機能分子化学1	機能分子化学2			
	5	金	免疫学1	免疫学2			
	8	月					
	12	金	免疫学3	免疫学4			
	15	月	機能分子化学3	機能分子化学4			
	19	金	免疫学5	免疫学6			
	22	月	機能分子化学5	機能分子化学6			
	26	金	免疫学7	免疫学8			
29	月	機能分子化学7	機能分子化学8				
11	2	金	免疫学9	免疫学10			
	5	月	機能分子化学9	機能分子化学10			
	9	金	免疫学11	免疫学12			
	12	月	機能分子化学11	機能分子化学12			
	16	金	免疫学13	免疫学14			
	19	月	機能分子化学13	機能分子化学14			
	20	火		機能分子化学15			
	21	水					
	22	木		免疫学15			
23	金						
12	17	月				健康情報データベースと統計分析	健康情報データベースと統計分析
	18	火				健康情報データベースと統計分析	健康情報データベースと統計分析
	19	水				健康情報データベースと統計分析	健康情報データベースと統計分析
	20	木				健康情報データベースと統計分析	健康情報データベースと統計分析
	21	金					

複合領域コース関係の諸規則

○四大学連合憲章

21世紀を迎えた今、グローバル化された社会において、真に国際競争に耐えうる研究教育体制を確立することを基本的理念とし、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学は、ここに、四大学連合を結成する。

四大学連合は、連合を構成する各大学が、それぞれ独立を保ちつつ、研究教育の内容に応じて連携を図ることで、これまでの高等教育で達成できなかった新しい人材の育成と、学際領域、複合領域の研究教育の更なる推進を図ることを目的とする。

各大学が相互に連携を図るにあたっては、各大学が、それぞれ異なる分野の学部、研究科及び研究所等を有していることを踏まえ、

- ① 履修や進学に関して、学生の選択の幅を拡大し、より良い教育体制を確立すること。
- ② 共同研究プロジェクトや学際的な研究領域での協力を行うことにより、国際的な研究水準の維持・達成を目指すこと。
- ③ 海外の大学との連携により、研究教育の更なる発展・向上を目指すこと。

という三点を具体的な目標として、学生、教員及び研究者の交流を図り、各大学の研究教育の水準を一層向上させるよう努力するものとする。

2001年3月15日

東京医科歯科大学長
鈴木章夫

東京外国語大学長
中嶋嶺雄

東京工業大学長
内藤喜之

一橋大学長
石 弘光

○「複合領域コース」、「編入学」及び「複数学士号」に関する協定書

東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学は、「四大学連合憲章」に基づき、2001年3月15日に調印された『「複合領域コース」、「編入学」及び「複数学士号」に関する三大学協定書』を一部修正するとともに、研究教育の内容に応じて、相互に緊密に連携し、学生、教員、研究者の交流を活発化させることにより、各大学の研究教育の水準を、より一層向上させることに合意し、次のとおり協定を締結する。

1. 「複合領域コース」（特別履修プログラム）の設定

- (1) 一大学では提供できない教育プログラムを、二大学又は三大学又は四大学が、相互に提供するため、「複合領域コース」を設定し、これまでの高等教育機関が育てることのできなかった新しい人材を育成することを目的とする。
- (2) 2年次以上の学科等に所属する学部学生を対象とする。
- (3) 履修を希望する学生の募集、選考方法は、各コースごとに定める。

(4) 学生は、他大学の「特別聴講学生」とし、図書館その他の施設を利用できるものとする。

(5) 学生が、他大学で取得した単位は、所属大学の単位に換算（単位互換）するものとする。

2. 「編入学」の実施

「複合領域コース」を履修している学生に対し、関連した他大学への「編入学」の途を開くものとする。

3. 「複数学士号」(dual degree) の創設

関連する二大学の間で、「複合領域コース」を履修した学生に対する「複数学士号」の制度を創設し、これを組織的に推進する。

4. 上記2, 3の実施に関する共通細目は、別途、定める。

5. 上記1~3の実施に関し必要な事項は、関連大学相互に、別途、協定を締結するものとする。

6. 上記1~3のほか、さらに、四大学の連携を拡充しようとする場合、又は、本協定の内容に疑義を生じた場合は、四大学において、その都度、協議するものとする。

7. 本協定は、2001年4月1日より実施の『「複合領域コース」、「編入学」及び「複数学士号」に関する三大学協定書』に代わるものとして、2005年4月1日より効力を有するものとする。

2005年4月1日

東京医科歯科大学長	鈴木 章夫
東京外国語大学長	池端 雪浦
東京工業大学長	相澤 益男
一橋大学長	杉山 武彦

* * * * *

○「複合領域コース」の履修者に係る「編入学」及び「複数学士号」に関する実施細目

1. 「複合領域コース」の設定及び「編入学」

- (1) 他大学の2年次終了後、受入れ大学の3年次に編入させる。ただし、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科については、2年次に編入させる。
- (2) 編入学の受入れ数は、各学部ごとに、若干名とする。
- (3) 編入学の受入れは、原則として、受入れ大学において、所属大学の履修成績、「複合領域コース」の履修成績、学習計画、学生の意欲などの総合判定により、決定する。(AO入試)
- (4) 東京医科歯科大学医学部医学科及び歯学部歯学科は、原則として、「複合領域コースに関する協定書」による編入学の受入れを行わない。
- (5) 一橋大学社会学部は、東京外国語大学との間での「複合領域コース」の設定及び「編入学」の受入れを行わない。

2. 複数学士号

- (1) 実施の形態は、次の6通りとする。

- ① 一橋大学又は東京工業大学の学生が、当該大学に、3~4年間在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士(商学)等又は学士(工学)等を授与された上、東京工業大学、一橋大学又は東京外国語大学に学士入学し、1~2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士(工

学)等, 学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与されること。

- ② 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科の学生が, 4年間在学し, 所定の単位を取得し, 学士(看護学), 学士(保健学)又は学士(口腔保健学)を授与された上, 一橋大学, 東京工業大学又は東京外国語大学に学士入学し, 1~2年間程度在学して, 当該大学所定の単位を取得し, 学士(商学)等, 学士(工学)等又は学士(言語・地域文化)を授与されること。
- ③ 一橋大学又は東京工業大学の学生が, 当該大学に, 2年間在学し, 一旦退学し, 東京工業大学, 一橋大学又は東京外国語大学に編入学し, 1~2年間程度在学して, 当該大学所定の単位を取得し, 学士(工学)等, 学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与された上, 一橋大学又は東京工業大学に再入学し, 1~2年間程度在学し, 当該大学所定の単位を取得し, 学士(商学)等又は学士(工学)等を授与されること。
- ④ 東京医科歯科大学医学部医学科又は歯学部歯学科の学生が, 2年間在学し, 一旦退学し, 東京工業大学, 一橋大学又は東京外国語大学に編入学し, 1~2年間程度在学して, 当該大学所定の単位を取得し, 学士(工学)等, 学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与された上, 東京医科歯科大学に再入学し, 4年間在学し, 学士(医学)又は学士(歯学)を授与されること。
- ⑤ 一橋大学, 東京工業大学又は東京外国語大学の学生が, 当該大学に, 3~4年間在学し, 当該大学所定の単位を取得し, 学士(商学)等, 学士(工学)等又は学士(言語・地域文化)を授与された上, 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科に学士入学し, 国家試験受験資格を具備するため, 3年間在学し, 学士(看護学)又は学士(保健学)を授与されること。
- ⑥ 東京外国語大学の学生が, 4年間在学し, 所定の単位を取得し, 学士(言語・地域文化)を授与された上, 一橋大学又は東京工業大学に学士入学し, 1~2年間程度在学して, 当該大学所定の単位を取得し, 学士(商学)等又は学士(工学)等を授与されること。

(2) 上記(1)以外の形態をとる必要が生じた場合は, その都度, 関連大学相互において, 協議するものとする。

(3) 上記(1)③及び④の再入学にあたっては, 入学料及び検定料は不徴収とする。編入学大学において, 学士(工学)等, 学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与されなかった者も同様とする。

(4) 「学士入学」, 「編入学」の受入れ数, 受入れ方法については, 前記1の(2)及び(3)を準用する。ただし, 東京医科歯科大学医学部医学科及び歯学部歯学科については, 一般公募される「学士編入学制度」に, 東京外国語大学外国語学部については, 一般公募される「編入学制度」によるものとする。

(5) 本実施細目において, 東京工業大学及び東京医科歯科大学医学部保健衛生学科への「編入学」については, これを「転入学」と読み替える。

3. この実施細目は, 2001年4月1日より実施の『「複合領域コース」の履修者に係る「編入学」及び「複数学士号」に関する実施細目』に代わるものとして, 2009年4月1日から実施する。

四大学連合に関するQ & A

東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学の四大学は、平成13年4月をもって連合協定を結び、平成13年度以降の入学者を対象とした複合領域コースを設置して個々の大学では提供できない授業科目を履修させることにより、従来の高等教育では育成できなかった広範囲の学際的分野の知識を有した学生の教育と、編入学や複数学士などの方法による学生の勉学・進路にかかわる選択肢の拡大を目指しています。

現在、東京医科歯科大学では複合領域コースにおいて東京工業大学、一橋大学との単位互換制度を行っています。

Q. 「複合領域コース」って何ですか？

A. 学際的分野に興味を持ったり、幅広い知識を習得したい学生に対して、個々の大学では対応できない講義を四大学連合で協力して集め、コースという形に整えたものです。例えば、東京医科歯科大学の学生で「複合領域コース」の履修を許可された者は、コースに提供された講義を東京工業大学や一橋大学で「特別聴講学生」として受講することが可能となる制度です。履修科目は取得単位として認められます。

Q. 四大学連合の定員は何人ですか？どこの大学で勉強することになるのですか？

A. 四大学連合という形で定員を設けて入学試験を行うものではありませんので、入学定員はありません。四大学連合の各々の大学に平成13年度以降に入学した学生の中で他大学の分野に興味を抱いた学生が2年生に進級する時点で、連合で提供する例えば一橋大学と東京医科歯科大学の2大学間の「複合領域コース」を履修してみたいと思うときに非正規科目として当該コースの受講が可能となるものです。

したがって、この場合は一橋大学又は東京医科歯科大学のいずれかの学部に入學していなければなりません。1年生のときは所属する大学で勉強をし、当該コースの履修を許可された2年生からは所属する大学で正規の科目を勉強するかたわら、一橋大学と東京医科歯科大学の両大学で所属したコースの受講科目を履修することになります。

東京工業大学を含めた3大学間のコースを選択した場合は3つの大学で2年生以降勉強することになります。

Q. 「複合領域コース」はいつからスタートしたのですか？

A. まず、対象となる学生は2001年度以降に入学した学生になります。

その学生が2年（大学によっては3年）に進級した段階で「複合領域コース」の履修を願い出ることができます。したがって、「複合領域コース」は2002年度がスタートの年でした。

Q. 四大学連合の大学に在籍していれば他の大学の授業を自由に受講できるのですか？

A. 現在のところ、2年生への進級段階でいくつか設定される「複合領域コース」のうちで興味のあるコースの履修を認められた学生に対して、そのコースに設けられた科目について他大学の受講が認められることになっています。

Q. 「複合領域コース」を履修するだけで卒業できるのですか？

A. 卒業が前提の制度です。卒業の要件は大学毎に異なっていますが、コース修了だけでその要件を満たすことはできません。在籍する大学の所属学科の基本的な科目を履修しながら、コースを履修しなければなりません。コース履修希望者は、入学後、コース担当教員や学科の先生とよく相談の上、学習計画を立ててから履修することを強く勧めます。

Q. 四大学連合の大学に入学できれば所属する大学以外の大学に転入学できるというのは本当ですか？

A. 転入学の制度は有ります。詳細はそれぞれ周知される要項等を確認していただくこととなりますが、四大学連合のいずれかの大学に在学していれば連合の他の大学に自動的に転入学できるというものではありません。

「複合領域コース」を受講している学生がコースに関連した大学の特定の学科への転入学を希望した場合に、受講した科目の成績や受講態度などを総合的に評価した上で転入学が許可されることがある制度です。転入学が行われるとしても若干名になります。

また、「複合領域コース」が大学間で設定されていたとしても、転入学を希望できるのは、履修したコースの主体となる学部、学科に限定されることとなります。東京医科歯科大学の医学部医学科はすでに発足させた別の制度があるため、他大学からの転入学の対象とはなっていません。（これらの学科へ転入学するには同大学の学士転入学制度に応募する必要があります。）現在の四大学連合制度のもとでの同大学への転入学は医学部保健衛生学科に対してのみ可能です。

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科へ転入学を考えている方は、転入学前に「複合領域コース」で医学部保健衛生学科の1、2年次必修科目を履修しておくことをお勧めします。履修出ずに転入学した場合、時間割の都合上3年間で卒業出来ない可能性があります。

○車等の利用

本学には、学生用の駐車場はありませんので交通機関を利用してください。

なお、湯島地区お茶の水門側に、本学への来訪者及び来院患者のために有料駐車場がありますが、学生の皆さんは、この有料駐車場を利用しないでください。

○学内の掲示

大学から学生の皆さんへの告知や通知等の連絡は、大学構内の所定の公用掲示板に該当事項を掲示することにより行うこととしています。

告示や通知等は、掲示することにより、周知したものとして取り扱うこととしていますので、登校時に必ず公用掲示板を見るよう心がけてください。

(主要掲示内容) 時間割変更、試験時間割、試験結果、休講通知、拾得物、大学行事等

<公用掲示板>

- ・教務課掲示板…1号館西1階 教務課前(修士講義のみ掲示)
- ・大学院掲示板…6号館前、わくわく保育園横(修士講義のみ掲示)
- ・医学部掲示板…3号館1階 医学科講義室前
- ・歯学部掲示板…7号館1階 歯学科リフレッシュルーム前

○生活協同組合

生活協同組合は、5号館の地階及び1階にあり、地階が売店、1階が食堂となっています。

○図書館

○場 所：湯島地区 M&Dタワー3・4階(図書館入り口は3階)

○開館時間：平日 8:30~22:00 土・日・祝日 8:30~17:00

(注) 平日19:30以降、および土・日・祝日は、M&Dタワー1階玄関は施錠されています。

インターフォンで防災センターに解錠を依頼してください。

○休 館 日：年末年始

○入館手続：初回に、複合領域の履修者であることを証明できるもの(時間割等)を、受付に提示し、特別聴講生であること、及び在学期間(履修登録をしている科目の最終講義日)を伝えて下さい。図書館利用証を発行します。

2回目以降は、入館ゲートに図書館利用証をタッチしてください。

○貸出・返却

1. 貸出冊数： 図書・製本雑誌=5冊(未製本雑誌の貸出は不可)
2. 貸出期間： 図書=2週間、製本雑誌=1週間
3. 貸出手続： 自動貸出機又はカウンター(図書館利用証が必要)
4. 返 却： 開館時間中=カウンター 閉館中=ブックボックス(図書館入り口)

○文献複写：有料複写機(3・4階)

○自動書庫：製本雑誌を収納(取り出しには、図書館利用証が必要)

○電子ジャーナル・電子書籍・データベース：利用は学内ネットワーク接続PCのみ(図書館で閲覧可)

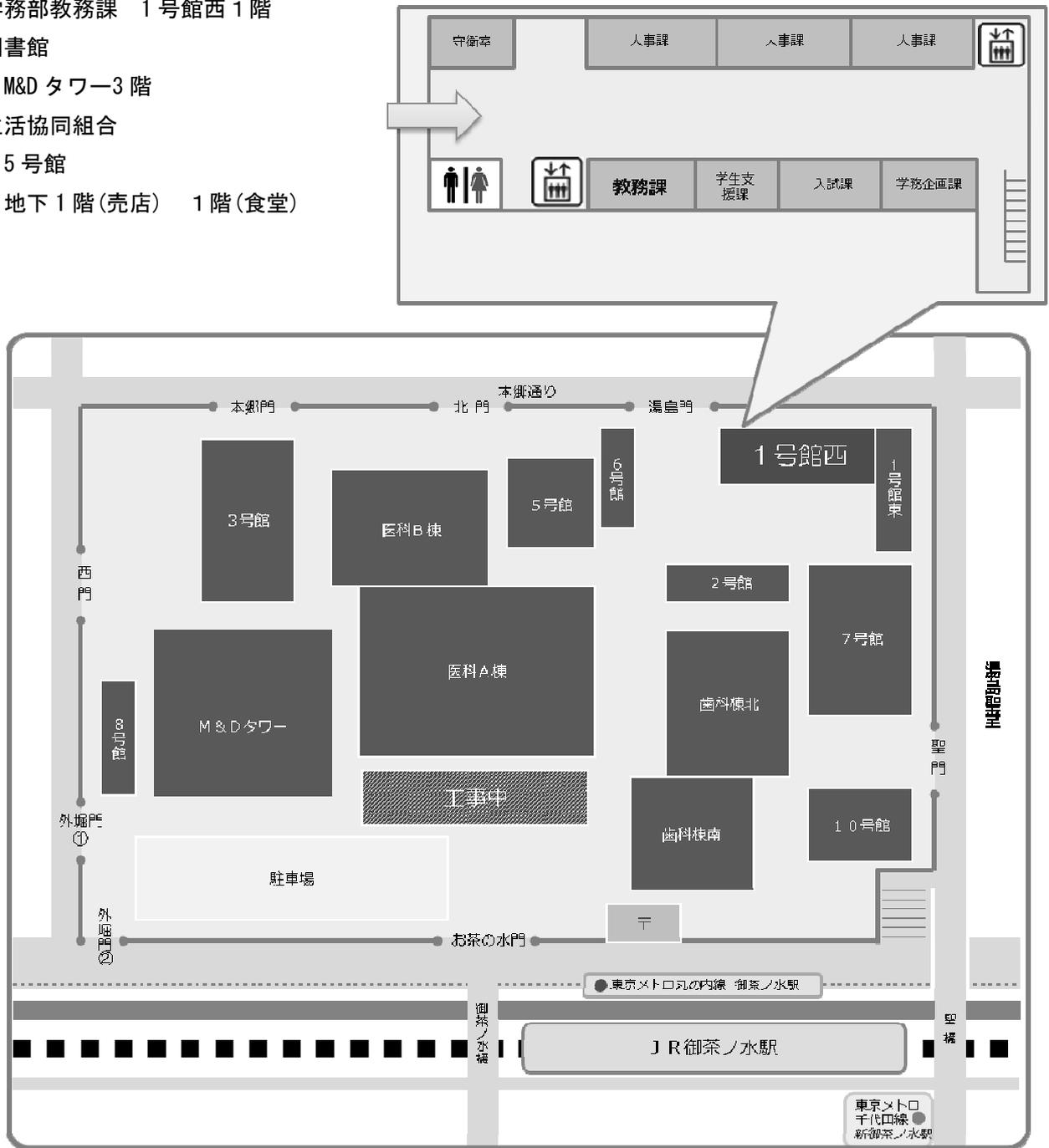
詳細は、図書館ホームページ(<http://www.tmd.ac.jp/lib/>)、「図書館利用案内」をご覧ください。

○交通案内・キャンパス案内等

東京医科歯科大学 文京区湯島 1-5-45

《ホームページ》<http://www.tmd.ac.jp/>

- ・学務部教務課 1号館西1階
- ・図書館
M&Dタワー3階
- ・生活協同組合
5号館
地下1階(売店) 1階(食堂)

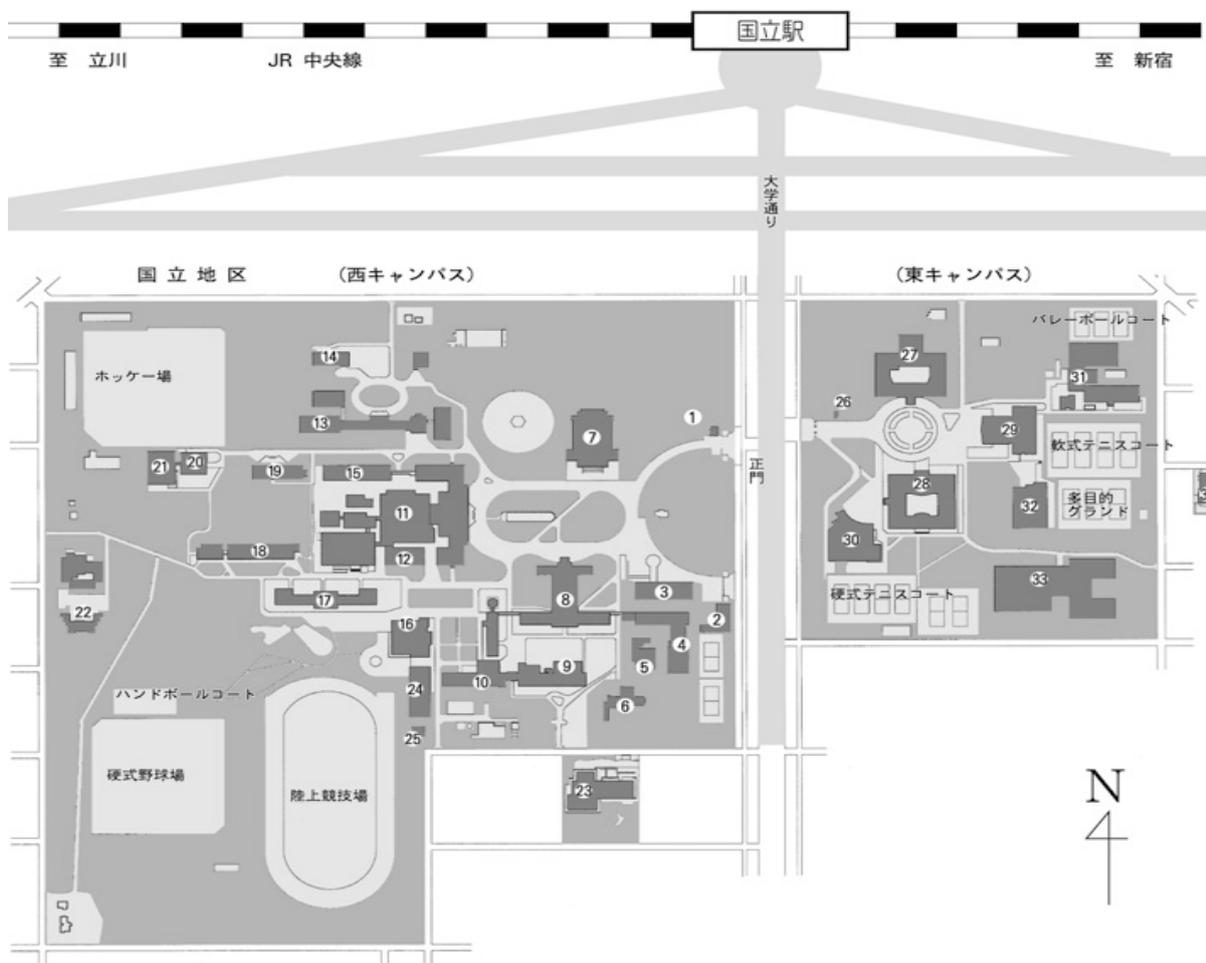


3号館入口は18時で閉鎖となります。

《最寄駅等》

- | | | |
|-----|----------|----------------|
| J R | 御茶ノ水駅下車 | (中央線、総武線) 徒歩5分 |
| 地下鉄 | 御茶ノ水駅下車 | (丸ノ内線) 徒歩2分 |
| 地下鉄 | 新御茶ノ水駅下車 | (千代田線) 徒歩5分 |

キャンパス案内



西キャンパス

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 西守衛所 | 14 社会科学統計情報研究センター |
| 2 車庫 | 15 第1研究館 |
| 3 法人本部棟 | 16 西プラザ |
| 4 別館 | 17 磯野研究館 |
| 5 保健管理センター | 18 第2研究館 |
| 6 職員集会所 | 19 イノベーション研究センター |
| 7 兼松講堂 | 20 総合情報処理センター |
| 8 本館 | 21 情報教育棟 |
| 9 第1講義棟 | 22 国際交流会館 |
| 10 第2講義棟 | 23 佐野書院 |
| 11 附属図書館 | 24 課外活動共用施設 |
| 12 社会科学古典資料センター | 25 合宿所 |
| 13 経済研究所 | |

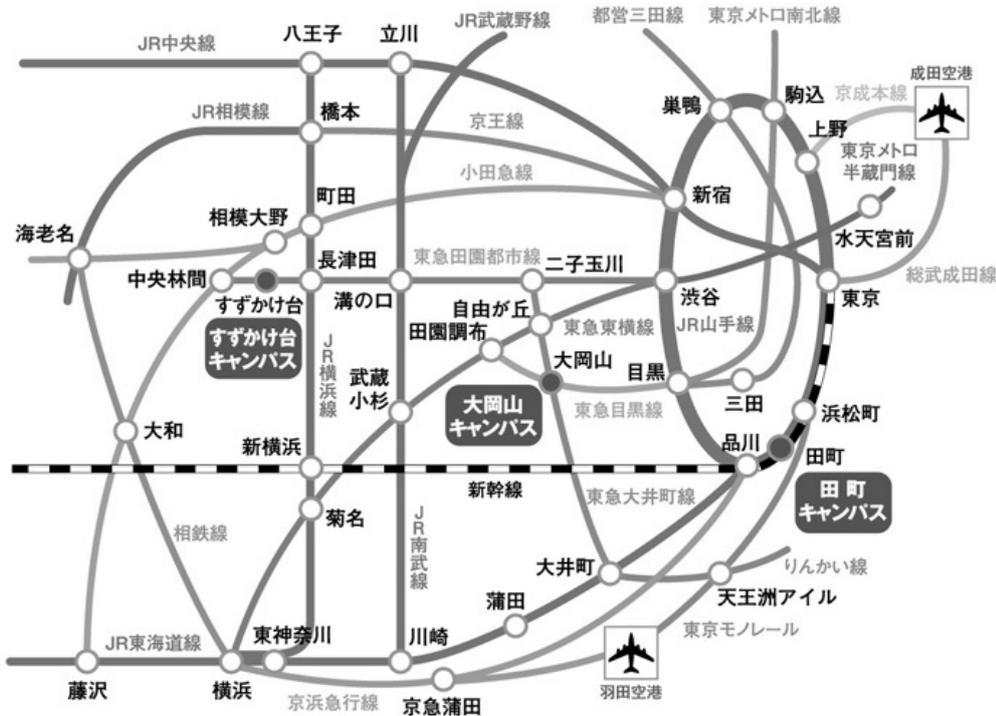
東キャンパス

- | |
|--------------|
| 26 東守衛所 |
| 27 東本館 |
| 28 東1号館 |
| 大学教育研究開発センター |
| 29 東2号館 |
| 30 東プラザ |
| 31 体育館・武道場 |
| 32 国際研究館 |
| ・言語社会研究科事務室 |
| 33 マーキュリータワー |
| ・法科大学院事務室 |
| 34 如水ゲストハウス |

《ホームページ》<http://www.titech.ac.jp/>

《複合領域コース》<http://www.gakumu.titech.ac.jp/kyoumu/yondai/>

交通案内



大岡山キャンパス

【東京駅・上野駅から】(◇は乗換え)

1. JR大井町駅(京浜東北線)◇東急大井町駅(大井町線)～大岡山駅
2. JR目黒駅(山の手線)◇東急目黒駅(目黒線)～大岡山駅

すすかけ台(旧長津田)キャンパス

【東京駅から】

1. JR渋谷駅(山の手線)◇東急渋谷駅(田園都市線)～すすかけ台駅
2. 営団地下鉄東京駅(丸の内線)～大手町駅◇半蔵門線大手町駅(半蔵門線)～すすかけ台駅

【上野駅から】

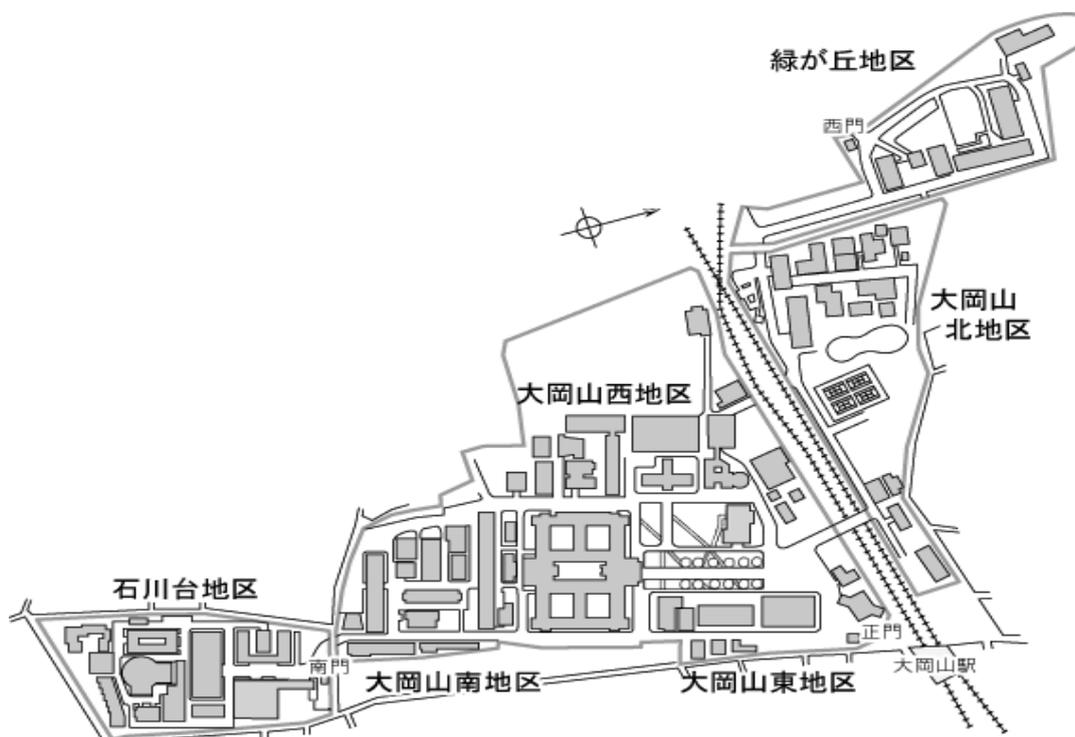
1. JR渋谷駅(山の手線)◇東急渋谷駅(田園都市線)～すすかけ台駅
2. 営団地下鉄上野駅(銀座線)～表参道駅◇半蔵門線表参道駅(半蔵門線)～すすかけ台駅

【新横浜駅から】

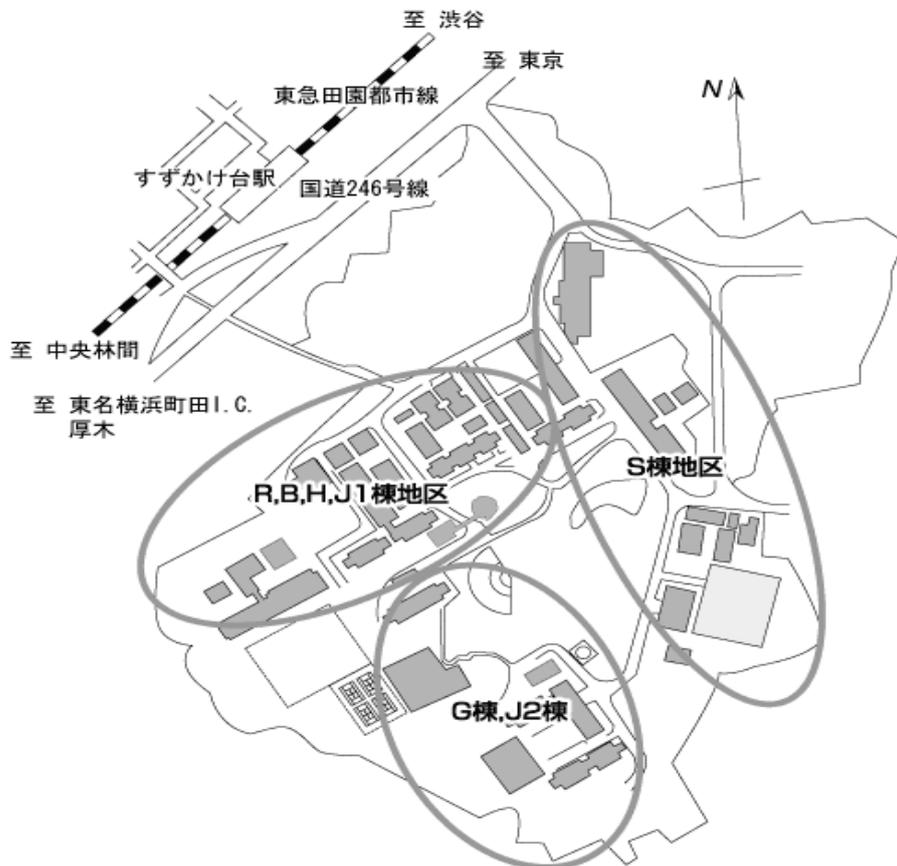
1. JR長津田駅(横浜線)◇東急長津田駅(田園都市線)～すすかけ台駅

東京工業大学キャンパス案内

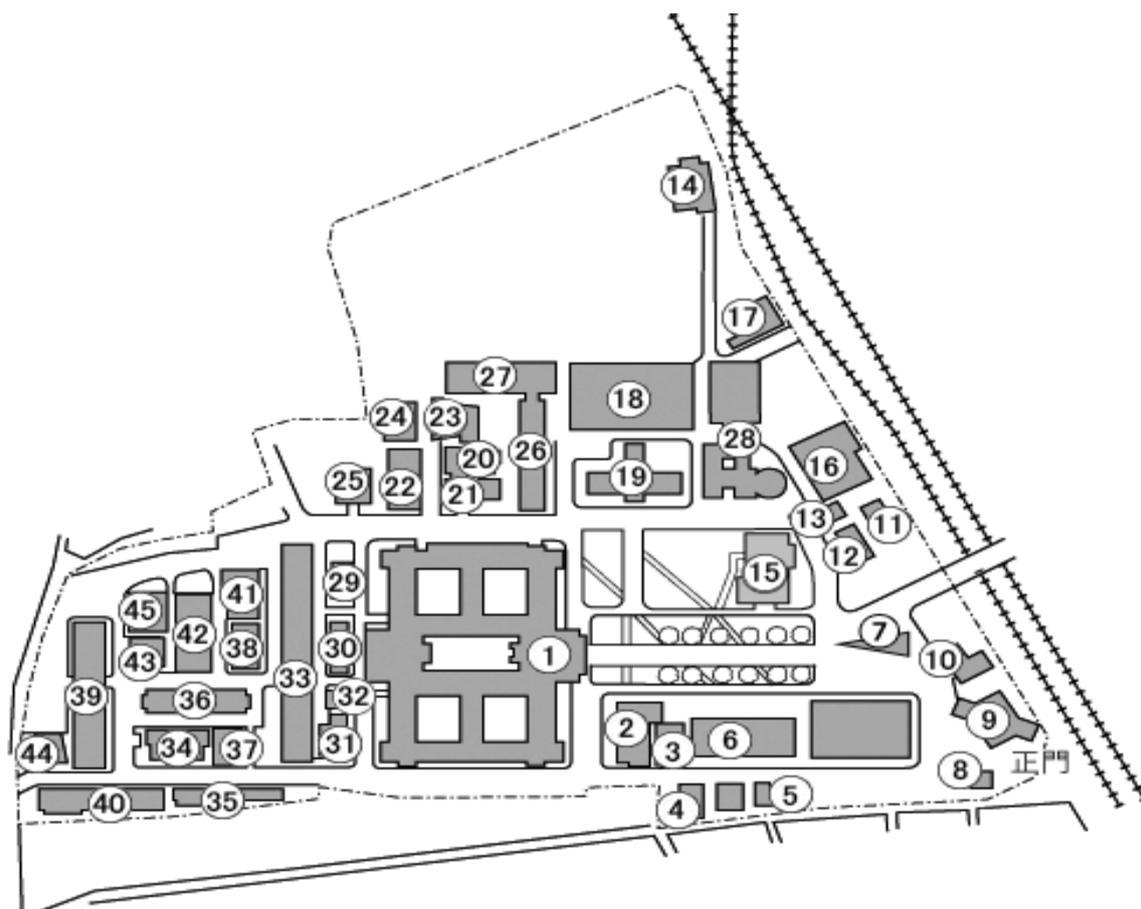
大岡山キャンパス



すずかけ台（旧長津田）キャンパス



東京工業大学 大岡山地区キャンパス案内



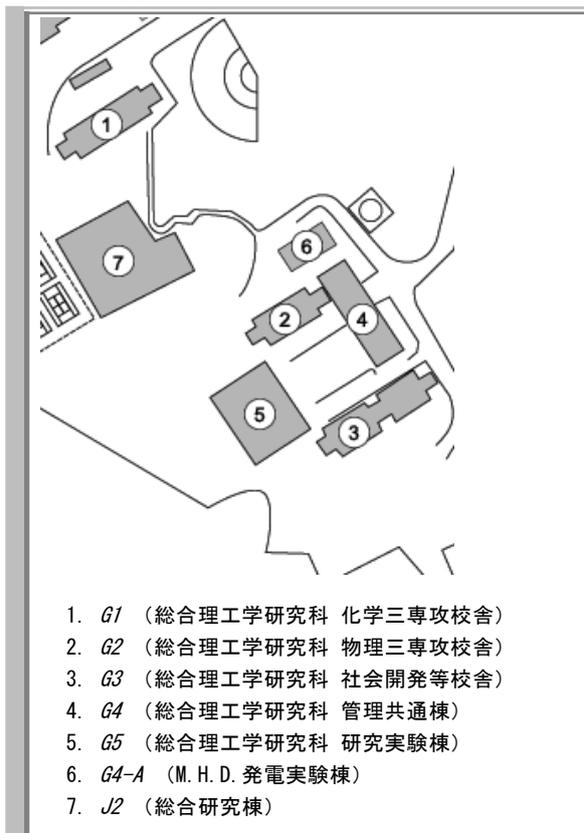
- | | | |
|------------------------|------------------------------|---|
| 1. 本館 | 17. 実験廃液処理施設 | 32. 大岡山東2号館 |
| 2. 事務局1号館 | 18. 屋内運動場 | 33. 大岡山南1号館 |
| 3. 事務局2号館 | 19. 大岡山西1号館
(留学生センター) | 34. 大岡山南2号館 |
| 4. 事務局3号館 | 20. 大岡山西2号館 | 35. 大岡山南実験棟2 |
| 5. 産学連携推進本部 | 21. 大岡山西3号館
(外国語研究教育センター) | 36. 大岡山南3号館 |
| 6. 学術国際情報センター
(情報棟) | 22. 大岡山西4号館 | 37. 大岡山南4号館 |
| 7. 附属図書館 | 23. 大岡山西5号館 | 38. 大岡山南実験棟4 |
| 8. 正門守衛所 | 24. 大岡山西6号館 | 39. 大岡山南5号館 |
| 9. 百年記念館 | 25. 大岡山西7号館 | 40. 大岡山南6号館 |
| 10. 地球史資料館 | 26. 大岡山西8号館E | 41. 大岡山南7号館 |
| 11. サークル棟1 | 27. 大岡山西8号館W | 42. 大岡山南8号館 |
| 12. サークル棟2 | 28. 大岡山西9号館 | 43. 大岡山南9号館
(量子ナノエレクトロニクス
研究センター) |
| 13. サークル棟3 | 29. 極低温実験棟 | 44. 大岡山南講義棟 |
| 14. サークル棟4 | 30. 極低温物性研究センター | 45. 超高速エレクトロニクス
研究棟 |
| 15. 70周年記念講堂 | 31. 大岡山東1号館 | |
| 16. 大学食堂 | | |

東京工業大学 すずかけ台（旧長津田）キャンパス案内

S 地区



G棟・J2棟地区



R・B・H・J1棟地区



1. R1 (資源化学研究所・総合理工学研究科)
2. R1-A (資源循環施設 実験工場)
3. R1-B (高圧反応気圧実験室)
4. R2 (精密工学研究所・像情報工学研究施設)
5. R2-A (精密工学研究所 共通実験室 A)
6. R2-B (精密工学研究所 共通実験室 B)
7. R2-C (精密工学研究所 共通実験室 C)
8. R3 (応用セラミックス研究所)
9. R3-A (応用セラミックス研究所 低温実験室)
10. R3-B (応用セラミックス研究所 超高圧実験室)
11. R3-C (構造デザイン研究センター)
12. R3-D (創造研究実験棟)
13. B1・B2 (生命理工学部校舎)
14. B1・B2-A・B・C
(バイオ研究基盤支援総合センター)
15. H1・2 (すずかけホール (大学会館))
16. J1 (総合理工学研究科等合同棟)

講義室へのアクセスは講義室一覧を参照してください。

東工大HP→教務課→講義室一覧

<http://www.gakumu.titech.ac.jp/kyoumu/lecturerroom/pdf/lecturerroom.pdf>